

2020 年度 文部科学省
専修学校による地域産業中核的人材養成事業

介護福祉士を目指す外国人留学生のための
「介護表現」読解力養成教育プログラム開発事業

事業成果報告書

2021年2月

学校法人河原学園
河原医療福祉専門学校

本報告書は、文部科学省の生涯学習振興事業委託費による委託事業として、学校法人河原学園 河原医療福祉専門学校が実施した2020年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

目次

1. 本事業の概要.....	1
1.1. 事業の趣旨と目的	1
1.2. 事業実施の背景	1
1.2.1. 介護人材の必要性和地域課題.....	1
1.2.2. 介護人材の必要性和地域課題.....	2
1.2.3. 求められる「介護表現」読解力.....	3
1.3. 事業の実施体制	4
1.3.1. 概要.....	4
1.3.2. 各機関の役割・協力事項.....	4
1.3.3. 事業実施委員会の構成.....	5
1.3.4. 事業実施委員会の開催.....	6
1.3.5. 作業委員会の構成.....	7
1.3.6. 作業委員会の開催.....	7
2. 事業活動の内容と成果.....	9
2.1. 教育カリキュラム・プログラムの概要.....	9
2.1.1. 3領域6単元からなるカリキュラム.....	9
2.2. カリキュラム・シラバス・コマシラバス	11
2.2.1. カリキュラム	11
2.2.2. シラバス	15
2.2.3. コマシラバス	17
3. 実証講座の内容	38
3.1. 受講対象者	38
3.2. 実証講座の概要	38
3.3. 実証講座レポート	39
3.4. 実証講座の評価	42
3.4.1. 実証講座の振り返り	42
3.4.2. 実証講座受講者（留学生）アンケート結果.....	45
3.4.3. 実証講座まとめ	49
4. テキスト、単元テスト・期末テスト	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 本事業の概要

1.1. 事業の趣旨と目的

介護の現場における人手不足の状況は、喫緊の課題と指摘されてから久しい。愛媛県の人口減少は、1年に1万人減と推測されている状況下で、高齢化率は平成30年で32.6%の全国7番目、2045年は41.5%で10番目と高く、さらに介護人材の求人倍率は3.5倍と他職種と比較して高倍率となっており、この課題を深刻化させている。

日本人の介護人材の採用が難しいことから、外国人留学生の受入れを拡大したいと考えている介護施設は少なくないが、日本人の介護福祉士の国家試験合格率が全体で70%を超えているのに対して、外国人留学生の合格率は、介護福祉教育コンソーシアムに参加している専門学校数校の今年度実績で27%未満となっているのが実態である。

その原因として考えられるのは、「介護表現」の読解力の弱さがあり、これを強化するための教育プログラムがないことがあげられる。現状、介護専門用語に関しては、外国人向け教材が整いつつあるが、課題は介護に関する背景や場面や動作の意味を踏まえた文章の読解力強化の対策である。本事業では、外国人留学生の「介護表現」読解力強化を目的とした教育プログラムを開発し、介護福祉士の合格率を、日本人受験者に準ずる水準まで改善することを目的とする。

1.2. 事業実施の背景

1.2.1. 介護人材の必要性と地域課題

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する超高齢社会によって生じる「2025年問題」は、介護の現場において多大な影響が懸念されている。図①「要介護認定者数の見通し」に示されたように、2025年には要介護3以上の認定者数は、307万人と推計されている。それ以降も要介護対象の人数は拡大していく推計である。

これに対して、都道府県推計に基づく介護人材の需給推計（図②）によると、需給ギャップは2025年に37.7万人（需要約253万人、供給約215万人）に拡大する。経済産業省による発表では、2035年には介護人材の需給ギャップは68

万人に達すると推計されている。さらに、「一億総活躍社会・介護離職ゼロ」を実現しようとする、家族による介護を介護サービスで代替する必要があり、介護人材需要が更に増加し、2035年時点で79万人の介護職員不足が見込まれるとしている。このような介護人材の不足は、介護施設、介護サービス

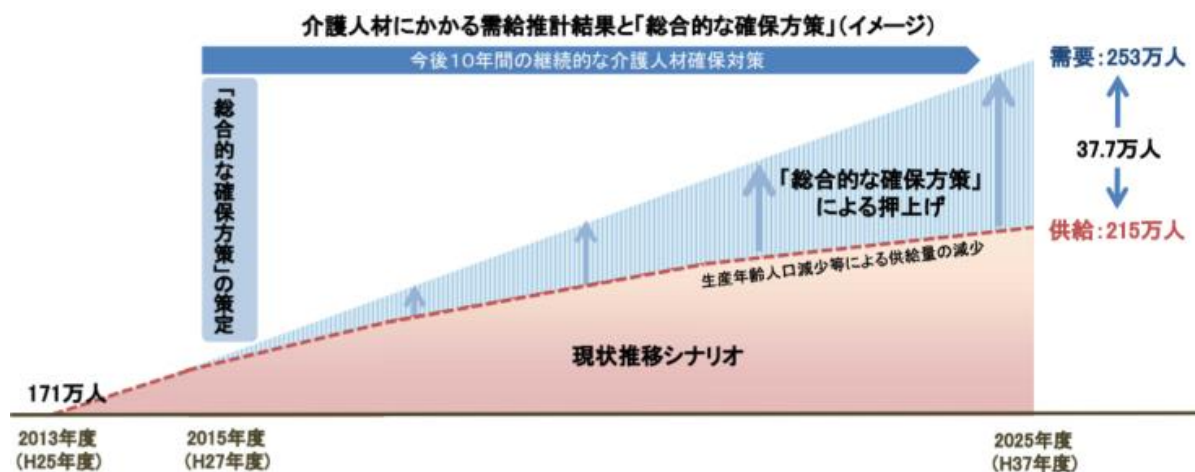
①要介護認定者数等の見通し



(資料)「人口推計」(総務省)、「介護給付費実態調査(平成26年10月審査分)」(厚生労働省)、「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

提供者における労働力不足の問題だけでなく、要介護者を家族に持つ労働者が離職せざるを得なくなるなど、日本全体の労働力不足に拍車をかける恐れがある。

②2025 年に向けた介護人材にかかる需給推計

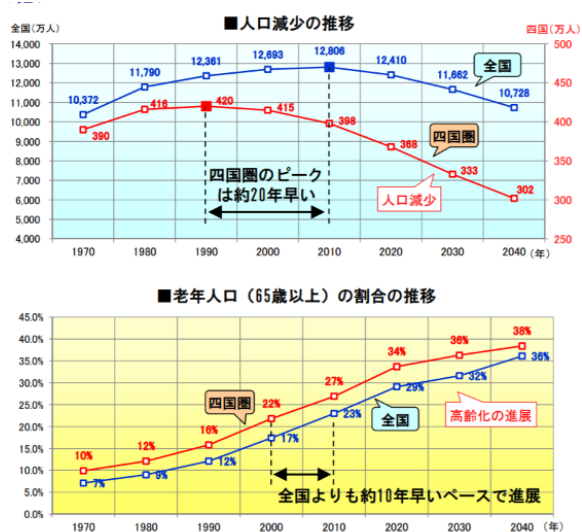


出典:厚生労働省「2025 年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)について」

介護人材の需給ギャップの課題に対して、介護予防の推進や介護機器・IT 等を活用した介護サービスの質・生産性の向上の対策が検討されているが、介護人材を輩出し、またその人材が長期に渡って介護の現場で就業できるよう、人材育成の側面から対策を図ることは喫緊の課題と言える。

この課題は、日本の全ての都道府県において対策が求められているが、より急務となっているのは、人口減少が著しい地域である。加えて、四国地方の老年人口が全国平均値より高い(図③)という地域性、特に愛媛県は高齢化率、介護求人倍率がともに高い状況となっており、介護人材を輩出していくことが必須となっている。

③人口減少と老年人口(全国と四国圏の比較)

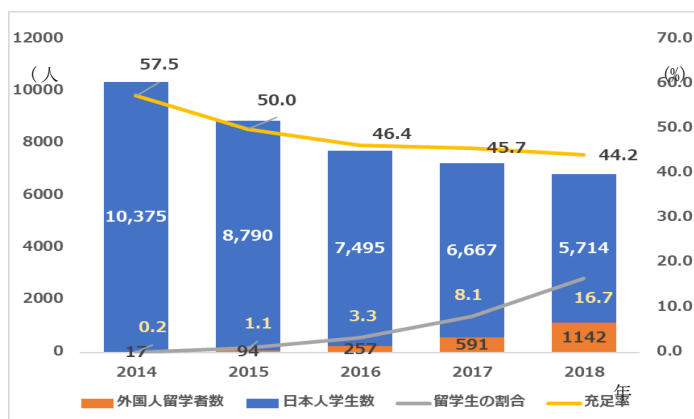


出典)国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成25年3月推計)」

1.2.2. 介護人材の必要性と地域課題

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会の調査によると、介護福祉士を養成する全国の専門学校や大学に、2018年4月に入学した外国人留学生は1142人で、前年から倍増している。一方で、定員に対する充足率は日本人は5年前の半分以上の5714人となり、入学者のうち6人に1人が外国人留学生となった(図④)。これには2つの要因がある。1つは、養成校において日本人志望者の減少に歯止めがかからず、深刻な定員割れに陥っていること。2つめは、政府が介護分野で外国人労働者の受け入れ拡大を目指しており、2016年11月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が成立・公布され、新たに在留資格「介護」が創設。2017年9月に施行されたことが影響している。

④介護福祉士養成校の入学者数と定員充足率



※日本介護福祉士養成施設協会の調査データからグラフ化

在留資格「介護」の創設により、留学で来日した後、介護福祉士の資格を取得して就職が決まれば、最大5年の在留資格が得られ、繰り返し更新ができることとなった。

介護福祉士養成校の充足率に歯止めをかけるには、留学生の受入れ拡大は必須の状況であるとの認識が読み取れるが、さらなる課題は、入学後の外国人留学生の介護福祉士国家試験の合格率の低迷にある。在留資格「介護」が施行されてから、受験に至った留学生数が少ないため、実際の合格率は公開されていないが、対象留学生を輩出した大手専門学校数校の実績によると、後述する「介護表現」への対応が困難なため、留学生の合格率は27%未満に留まっている(介護福祉教育コンソーシアムに参加している専門学校数校の今年度の実績値)。全体の合格率73.7%とは大きくかけ離れており、EPA介護福祉士候補者の合格率46.0%と比較しても、留学生の合格率は大きく下回る状況だ。(図⑤)

⑤第32回介護福祉士国家試験合格結果(令和元年度)

区分	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
総数	84,032	58,745	69.9
介護福祉士養成施設	5,987	4,789	80
EPA	758	337	44.5

※厚生労働省の発表内容を表化

1.2.3. 求められる「介護表現」読解力

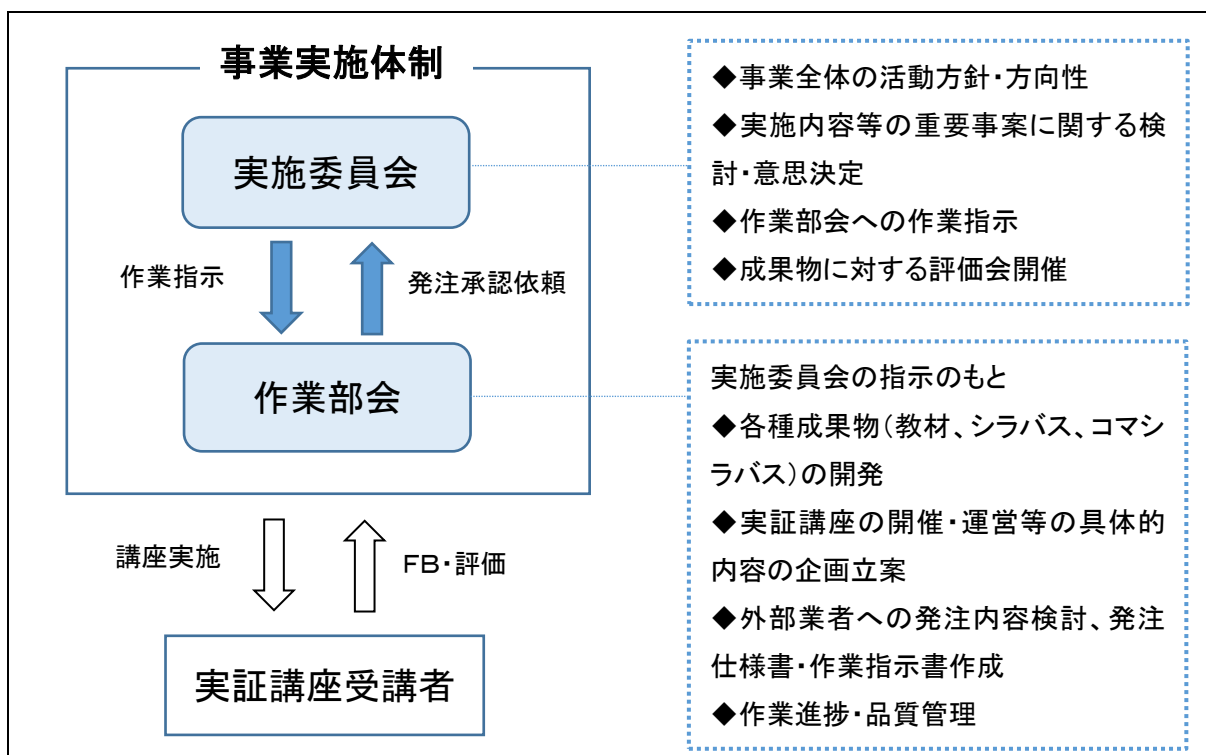
留学生の合格率が低迷している原因として、「介護表現」の読解力が弱いためであると考えられる。「介護表現」とは、介護分野における狭義の専門用語だけでなく、その意味を、具体的な介護の場面、動作、背景等と結びつけて日本語で深く理解するために必要な、一連の語彙や表現の総体を意味する。介護の技術は各養成校の正規授業で、介護の専門用語に関しては補講等により対応されており、留学生の介護技術及び専門用語単体に関する理解度は比較的高くなっているという。

また、外国人向け介護用語集も多数出版されていることに加え、ルビ付き出題で受験できるため、専門用語単体の理解はクリアされてきた。しかし、国家試験合格に向けた最大の問題は、介護に関する日

本語表現を総体的に理解するための読解力強化である。そのためには、専門用語単体の語意だけでなく、それが具体的な介護の場面、動作、背景等と結びつけられた日本語表現の総体、つまり、「介護表現」の読解力を修得させる必要がある。現状ではそのための教育プログラムが存在せず、専門学校留学生の介護福祉士国家試験合格率低迷の最大要因となっている。また「介護表現」に関する読解力を身につけていけば、国家試験合格率向上だけでなく、実際の介護現場で周囲の日本人と適切に連携できるようになることも想定できる。福祉施設現場の人手不足の現状を考慮すると、即戦力となり得る外国人留学生の介護福祉士を多く輩出していくことが地域課題の解決に繋がると言える。さらに、地域課題だけでなく、日本の労働力不足の課題に対する解決策の一つともなり得る。加えて、本事業で開発する教育プログラムは、専門学校の外国人留学生のみでなく、技能実習生、EPA介護福祉士候補者の日本語力強化にも適用できるため、外国人介護人材の育成に関する波及効果は高いと考えられる。

1.3. 事業の実施体制

1.3.1. 概要



1.3.2. 各機関の役割・協力事項

○教育機関

- ・介護福祉士候補の外国人留学生に関する教育ノウハウ提供
- ・カリキュラム作成、コマシラバス作成
- ・実証講座への協力（参加する留学生の募集、会場提供）

○企業・団体

- ・介護福祉業界団体：介護福祉全体の視点で助言、評価
- ・社会福祉法人：介護福祉士を受け入れる機関として助言、評価

○行政機関

- ・本事業の実施にあたっての助言
- ・県内介護施設事業者への協力依頼
- ・本事業の成果物や実証講座が、地域課題の解決に結びつくか評価

1.3.3. 事業実施委員会の構成

◆構成員（委員）

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	秋葉英一	学校法人秋葉学園理事長	開発・実証	千葉県
2	大本研二	学校法人こおりやま東都学園理事長	開発・実証	福島県
3	越中谷薫	学校法人清永学園理事長	開発・実証	石川県
4	八尾 勝	学校法人東京 YMCA 学院相談役	開発・実証	東京都
5	神山恵美子	学校法人帯広コア専門学校副理事長	開発・実証	北海道
6	小村美香	倉敷外語学院副主任	開発・実証	岡山県
7	城田 忠	社会福祉法人 ウエルライフ 篠山学園 専任教員	開発・実証	兵庫県
8	横山 純	学校法人静岡理工科大学 専門学校事業室次長	助言・評価	静岡県
9	菅原哲雄	社会福祉法人砥部寿会 特別養護老人ホーム 砥部オレンジ荘 施設長	助言・評価	愛媛県
10	杉本太一	社会福祉法人紅梅会 特別養護老人ホーム 梅本の里 総括施設長	助言・評価	愛媛県
11	高橋雅志	社会福祉法人愛隣園 特別養護老人ホームガリラヤ荘施設長	助言・評価	愛媛県
12	窪田里美	社会福祉法人慈光会 味酒野ていれぎ荘施設長	助言・評価	愛媛県
13	荻山英治	社会福祉法人泰斗福祉会かなさんどう主任	助言・評価	愛媛県
14	井川義伸	愛媛県介護福祉士会 会長	助言・評価	愛媛県
15	藤井大輔	愛媛県保健福祉部 社会福祉医療局 保健福祉課 課長	助言・評価	愛媛県

16	八木俊幸	愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 外国人介護人材支援センター長	助言・評価	愛媛県
17	河原成紀	学校法人河原学園理事長	管理・運営	愛媛県
18	越智節也	河原医療福祉専門学校校長	管理・運営	愛媛県
19	芦澤昌彦	学校法人河原学園教務部長	実証・評価	愛媛県
20	田中宏治	河原医療福祉専門学校事務長	運営・事務	愛媛県
21	宮田 幸	河原医療福祉専門学校介護福祉科主任	実証・評価	愛媛県
22	吉田 理絵	河原医療福祉専門学校介護福祉科留学生担当	実証・評価	愛媛県
23	本田浩司	河原医療福祉専門学校教務課長	管理・事務・実証	愛媛県

1.3.4. 事業実施委員会の開催

■第一回 事業実施委員会

日時	令和2年8月28日(金) 16:00~18:00
場所	河原医療福祉専門学校 オンライン会議
議事	(1) 事業計画の説明 (2) 教育プログラム開発(案)について (3) 今後の予定、計画について

■第二回 事業実施委員会

日時	令和2年12月18日(金) 16:00~18:00
場所	河原医療福祉専門学校 オンライン会議
議事	(1) テキストについて (2) テキスト構成、教育プログラムの評価、検討 (3) 今後の予定、計画について

■第三回 事業実施委員会

日時	令和3年2月17日(水) 16:00~18:00
場所	河原医療福祉専門学校 オンライン会議
議事	(1)実証講座の検証 (2)成果物検証 (2)事業全体の評価

1.3.5. 作業委員会の構成

◆構成員（委員）

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	宮元 預羽	今治明德短期大学講師	開発・実証・評価	愛媛県
2	小木 曾真司	聖カタリナ大学講師	開発・実証・評価	愛媛県
3	高橋 雅志	社会福祉法人愛隣園 特別養護老人ホームガリラヤ荘施設長	助言・評価	愛媛県
4	窪田 里美	社会福祉法人慈光会味酒野ていれぎ荘施設長	助言・評価	愛媛県
5	荻山 英治	社会福祉法人泰斗福祉会かなさんどう主任	助言・評価	愛媛県
6	藤井 大輔	愛媛県保健福祉部 社会福祉医療局保健福祉課課長	助言・評価	愛媛県
7	八木 俊幸	愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部外国人介護人材支援センター長	助言・評価	愛媛県
8	吉田 理絵	河原医療福祉専門学校介護福祉科留学生担当	開発・実証	愛媛県
9	芦澤 昌彦	学校法人河原学園教務部長	開発・実証・評価	愛媛県
10	宮田 幸	河原医療福祉専門学校介護福祉科主任	開発・実証・評価	愛媛県
11	本田 浩司	河原医療福祉専門学校教務課長	管理・運営・事務	愛媛県

1.3.6. 作業委員会の開催

■第一回 作業部会

日時	令和2年9月15日(火) 16:00~18:00
場所	河原医療福祉専門学校 オンライン会議
議事	(1) 事業計画の説明 (2) 教育プログラム開発(案)について (3) 今後の予定、計画について

■第二回 作業部会

日時	令和2年12月4日(金) 16:00~18:00
場所	河原医療福祉専門学校 オンライン会議

議事	(1) テキスト開発(案)について (2) 実証講座について
----	-----------------------------------

■ 第三回 作業部会

日時	令和3年2月9日(火) 13:40~16:00
場所	河原医療福祉専門学校 6階 601教室
議事	(1)実証講座見学 (2) 実証講座の振り返り



■ 第四回 作業部会

日時	令和3年2月17日(水) 16:00~18:00
場所	河原医療福祉専門学校 図書室
議事	(1)実証講座の検証 (2)成果物の検証 (2)事業の評価

2. 事業活動の内容と成果

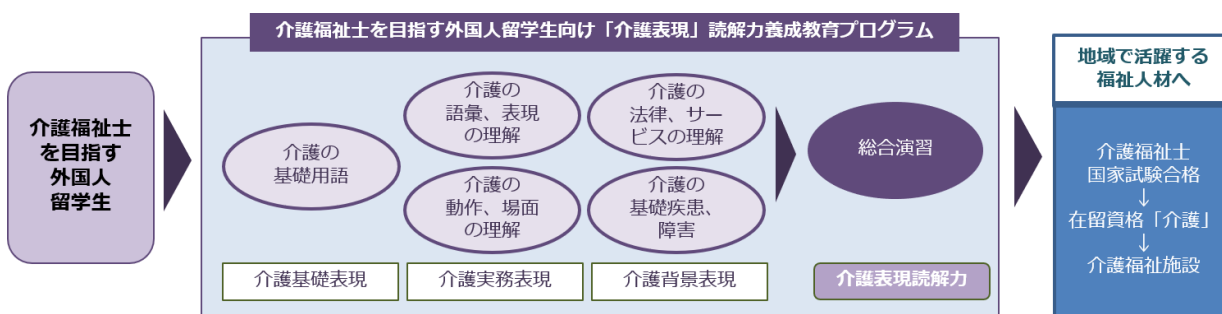
2.1. 教育カリキュラム・プログラムの概要

介護福祉士国家試験の問題は、一般的な日本語読解力だけでなく、「介護表現」の読解力、つまり、介護の知識を関連付けながら日本語の文章を読み解く力が求められる。留学生のための一般的な日本語学習テキストや、介護の専門用語単体の語意を説明する外国人のための介護用語集は存在するが、介護分野に関する日本語表現の総体である「介護表現」読解力のカリキュラムはない。

そこで本事業では、介護福祉士国家試験の合格を目標に置きながら、介護の場面の理解や介護固有の動作について、日本語の表現を通して理解することを目指す「介護表現」読解力強化のカリキュラムを開発する。

また、介護福祉士養成施設となっている専門学校が、指定カリキュラムの空き時間に組み込んで授業を行えるよう、構成や確認テスト等を作成する。最終的には総合演習において、事例を読み解く力が付き、国家試験に出題される問題文の内容を十全に理解する力を修得するカリキュラム構成とする。

<本教育プログラムの全体像>



2.1.1. 3領域6単元からなるカリキュラム

介護福祉士国家試験の出題範囲に含まれる各領域の日本語表現を、専門用語単体に関連する「介護基礎表現」、介護実践における動作や場面に関連する「介護実務表現」、医療や法令知識に関連する「介護背景表現」の三種類の表現体系（「介護表現」体系）に再編成し、受講者が体系的に学べる構成とする。問題の解説、演習を繰り返し行うことで「介護表現」読解力を修得する。

◆想定する受講者

在留資格「介護」での就業を希望し、介護福祉士を目指して介護福祉士国家試験の受験を控えている外国人留学生を対象とする。

介護分野の専門学校1年次生で、国家試験対策講座を受講する前段階の日本語能力試験N3相当の日本語能力保持者を想定。

◆カリキュラム（3領域6単元）

前記の3領域を、下記6単元で構成したカリキュラムとする。

- ・介護の基礎用語
- ・介護の場面で頻繁に使用される語彙や表現の理解
- ・介護実践の動作、場面の理解
- ・介護の疾患、障害（基本）
- ・介護に関する法律、サービスを理解するための日本語
- ・総合演習

領域	単元	テーマ			コマ数
介護基礎表現	介護の基礎用語	・基礎用語を使って、ヒト(専門職)とヒト(被介護者)の動きや場面の文章を日本語で理解し書く。	・基礎用語を使って、介護福祉現場の説明の文章を日本語で理解し書く。	・介護の基礎用語をさまざまな意味に置き換えて理解する。	16
介護実務表現	介護の場面で頻繁に使用される語彙や表現の理解	・関心のある介護福祉のヒト、モノなどについて日本語の表現を通して理解する。	・介護の場面図表などの説明や記録の文章を日本語の表現を通して理解する。	・介護の場面での案内や報告する文章を日本語の表現を通して理解する。	12
	介護実践の動作、場面の理解	・介護の現場で起きる様々な場面について、日本語の表現を通して理解する。	・被介護者と介護者の間で起こる介護固有の動作について、日本語の表現を通して理解する。	・介護実践の動作、場面の理解を踏まえて、介護技術の応用的な方法を日本語の表現で理解する。	10
介護背景表現	介護の基礎疾患、障害	・介護における基礎疾患(認知症、脳血管性疾患等)を日本語で理解する。	・障害(内部障害・外部障害等)の名称を日本語で理解する。	・基礎疾患、障害からくる特徴をそれぞれ日本語で理解する。	12
	介護に関する法律、サービスを理解するための日本語	・介護に関する法律を日本語の表現を通して理解する。	・介護に関するサービスを日本語の表現を通して理解する。	・法律、サービスの特徴をそれぞれ日本語で理解する。	7

まとめ、総合演習	・事例検討をグループ学習から個別学習に落とし込み、総合的に内容の理解をする。	・1年間で修得した介護基礎表現、介護実務表現、介護背景表現を集約した総合問題を理解する。	・介護福祉士国家試験の過去問題の総合問題を読み解き理解する。	3
コマ数合計				60

2.2. カリキュラム・シラバス・コマシラバス

2.2.1. カリキュラム

章	授業内容		コマ数	目標
1 介護の基礎的な用語	1節	身近な生活の場合の日本語	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の単語、文章、主語、述語を意識しながら日本語学習の確認を行い、簡単な場面を日本語で説明する力を高める。 介護福祉現場で使用されている言葉を理解することができる。 介護福祉士としての理念について理解することができる。 日本の生活文化を理解することができる。 自立支援、個別ケ
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 基本用語を使い、人と人の動きや場面について単語、文章を理解する。 簡単な日本語を取り扱い、主語、述語を意識しながら短文・長文を日本語で書く。 		
	2節	介護福祉現場で使用されている言葉の理解	6	
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉現場で使用される単語を取り扱い、イラストを活用しながら言葉の意味、漢字を理解する。(食事・入浴・排せつ・日常生活場面におけるの単語) 正規カリキュラムで取り扱う単語を事前に学習する。 		
	3節	介護福祉士の理念	2	
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士としての理念について学ぶことができ、そして日本での生活文化についても取り扱う。 自立支援、個別ケアの視点について簡単な言葉を用いて置き換えることができる。 		

				アについて理解し簡単に言葉で置き換えることができる。
	4節	介護表現・用語への変換	6	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉現場で使用されている用語を理解し、各場面に応じた言葉を選び日本語で話すことができる。 ・介護場面を、基本的な日本語に変換して文章を書く力を高める。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護福祉現場で使用されている用語の理解」で学んだ単語を、さまざまな意味に置き換えて理解する。 ・日常生活で使う言葉を、介護現場で使う言葉を理解した上で変換し、日本語で書くことができる。 		
2 介護実務の表現①	1節	介護の場面で頻繁に使用される文章表現の理解	5	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の場面で頻繁に使用される文章をイラスト、文章、事例から読み解く。 ・読み解いた文章について説明し理解できるよう学習する。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の場面で頻繁に使用される文章をイラスト、文章、事例から読み解く。 ・読み解いた文章について説明し理解できるよう学習する。 		
	2節	実習記録の読み方、書き方	5	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録を読む力、そして基礎表現を活用した書く力を高める。
	3節	報告・連絡・相談の読解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の場面を想定した演習を通し、チームケア・連携の在り方について学び、報告・連絡・相談に関する知識を身に付ける。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の現場で実際に使用される報告・連絡・相談の文章を理解する。 ・言葉を置き換えて理解することができる。 ・グループワークを通して、日本語で書き、伝える。 		
3 介護実務	1節	さまざまな場面での配慮・個々に応じた支援内容の理解	7	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな介護場面で日本語で理

の表現②	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな介護場面（食事・入浴・排せつ・日常生活等）を通して日本語を理解する。 ・介護場面で起きるで配慮が必要な点について、文章を読み解き理解する。（リスクマネジメント・終末期等） ・利用者と介護福祉職の間で起こる動作について、個別ケアの視点で対応を理解し文章にする。 		解する力を高める。
	2節	生活支援技術の理解・介護のプロセス	3	・生活支援技術の動作、場面を理解する力を高める。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援技術の動作、場面の理解を踏まえて日本語の表現で理解することができる。（移乗介助・移動介助・ベッド上での介助・立位・食事・入浴・排せつ・日常生活） ・事例を基に、支援方法を考え日本語で説明することができる（移乗介助・移動支援・ベッド上での介助・立位・食事・入浴・排せつ・日常生活） 		
4 介護の背景表現①	1節	介護の代表的な疾患の理解	4	・介護における基礎疾患を日本語で理解する力を高める。また、主症状を理解する力を高める。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における基礎疾患を日本語で理解する。 【分類】脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、糖尿病、骨粗鬆症、悪性腫瘍、廃用症候群、肺炎、白内障、緑内障、難聴、パーキンソン病、関節リウマチ 等 ・介護における基礎疾患を読んで、その症状を日本語で説明する。 		
	2節	障害の理解	4	・各障害の名称を日本語で理解し、それぞれの主症状を讀解する力を身に付ける。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の名称を日本語で理解する。 【分類】身体障害（肢体不自由、内部障害）、精神障害（統合失調症、うつ病、アルコール依存症など）、高次脳機能障害（遂行機能障害、社会的行動障害、注意障害、半側空間無視）、発達障害 ・障害の名称を読んで、その症状を日本語で説明し、文章で書く。 		
	3節	認知症の理解	4	・認知症の名称を日本語で理解し、それぞれの主症状を讀解する力を身に付ける。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まず「認知症」とは何か説明できるよう学習する。そして、中核症状、行動・心理症状について単語を理解する。 ・認知症原因疾患の種類・特徴を理解する。 【分類】アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症 		

5 介護の背景表現②	1節	介護に関する諸制度の理解	3	<ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する法律を読み取り、日本語で理解する力を高める。 ・介護福祉サービスを、日本語で説明できる力を高める。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度を取り扱い、制度の理解を深め日本語で説明する。まずは簡単な制度の説明から始まり、制度の中身を学習する。 【分類】社会保険（年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険） 		
	2節	介護保険制度のサービスの理解	2	
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に関するサービスを理解し、日本語で理解する。 【分類】居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス 		
	3節	障害福祉のサービスに関する理解	2	
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法に関するサービスを理解し、日本語で説明することができる。 【分類】介護給付、訓練等給付 		
6 総合演習	1節	総合問題	1	
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で習得した介護基礎表現、介護実務表現、介護背景表現を集約した総合問題を理解する。 ・過去問題を読み解き、自分の言葉で過去問題を理解する。 		
	2節	過去問題・模擬問題	2	
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験の過去問題の総合問題を読み解き理解する。 ・実際に模擬問題を解き、正誤を理解する。 			
コマ合計			60	

2.2.2. シラバス

ディプロマ・ポリシーとの関係
<input type="checkbox"/> 支援、計画、実践能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題を把握し解決する能力 <input type="checkbox"/> 高い応用能力
カリキュラム・ポリシーとの関係
<input checked="" type="checkbox"/> 介護福祉に関する専門知識・技術 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションに関する技術 <input type="checkbox"/> 介護計画に関する技術 <input type="checkbox"/> 人権擁護の能力
科目趣旨・目的（背景となる社会情勢・業界動向・資格試験との関係、および、カリキュラム全体における位置づけ）
<p>超高齢社会における介護福祉士のニーズの高まりに反比例する「介護人材の枯渇」は、我が国が抱える大きな社会問題であり、その解決策の一つとして教育現場に期待されているのが『介護福祉士を目指す留学生の育成』である。</p> <p>一方で、国家資格としての難易度もさることながら、外国人留学生にとっての「国家資格受験、また介護現場で求められる日本語能力」の習得は依然として大きな課題となっている。</p> <p>本科目では、従来の授業を補完し、受験に向けた【各種介護表現の理解力、表現力の向上】を目指す。介護福祉士国家試験の問題は、一般的な日本語読解力だけでなく、「介護表現」の読解力、つまり、介護の知識を関連付けながら日本語の文章を読み解く力が求められる。そこで本事業では、介護福祉士国家試験の合格を目標に置きながら、介護の場面の理解や介護固有の動作について、日本語の表現を通して理解することを目指す「介護表現」読解力強化を目指す。最終的には総合演習において、事例を読み解く力が付き、国家試験に出題される問題文の内容を十全に理解する力を修得するカリキュラム構成とする。</p>
科目概要
介護福祉士国家試験合格に必要な要素として、介護専門用語単体の理解と、介護に関連する法令知識、介護実践における介護固有の動作や場面、介護に関連する医療の要素を日本語の表現を通して理解する力が挙げられる。介護福祉士国家試験の出題範囲に含まれる各領域の日本語表現を、専門用語単体に関連する「介護基礎表現」、介護実践における動作や場面に関連する「介護実務表現」、医療や法令知識に関連する「介護背景表現」の三種類の表現体系（「介護表現」体系）に再編成し、受講者が体系的に学べる構成とする。問題の解説、演習を繰り返す行うことで「介護表現」読解力を修得する。
キーワード
介護基礎表現、介護実務表現、生活支援技術、基礎疾患、障害、認知症、社会保障制度、介護保険制度、障害者総合支援法
到達目標
キーワードで掲げた様々な介護用語、文章、制度を日本語で正しく理解し、日本語で表現でき、介護福祉士国家試験に合格する。

カリキュラムリーダーからのコメント

文部科学省委託事業において、留学生の読解力の向上を目指すものである。本事業は2年計画で、介護福祉士を目指す留学生が、日本語（介護福祉士国家試験に関わる言葉）を理解できるような学習になっている。

授業要素・実務連携要素

本科目では、毎回オリジナルテキストを使用し、学習進行を支援する。授業では講義形式に加え、グループワーク、また受講者同士が学びあう時間を設け、学習内容の定着と学習成果の向上を図る。

2.2.3. コマシラバス

コマシラバス(90分授業コマ単位のシラバス)				
90分/コマ	コマ主題	コマシラバス項目	内容	教材・教具
1	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	日本語を正しく読み、書き、話し、伝えるには、主語述語に加え修飾語も必要になってくる。この授業では、既習してきた日本語を振り返りながら、さらに正しく使い分けて、書いたり相手に伝えたり読み取る力を高める。	オリジナルテキストp7 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	身近な生活の場合の日本語①	
		細目レベル	主語と述語、修飾語について意識し、日常生活の中で動作に関する言い回しの基礎を固める。 1. イラストの中にある「単語」が列記されているので、その「単語」を使って「主語+述語」を意識した文章を作り、自己学習ノートに記入する。 2. ペアワークとして、自分が作った文章をペアの相手に口頭で説明する。相手は聞いた内容を自分のノートに記入し、終了後に間違いがあったかどうか確認しあう。 3. 前項1で作成した文章を、過去形の文章に変換する。作った文章を各自発表する。 4. 前項3で作成した過去形の文章に、修飾語を加え、より詳しい説明を行う文章に変換する。また作成した文章をつなげ、使用したイラスト全体を説明する文章を作成する。作った文章を各自発表する。	
		5キーワード	主語、述語、修飾語、過去形、文章作成	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	日本語学校(学科)で使用していた教科書を、もう一度読み返し、書けない、読めない、意味が分からない漢字は調べる。	
2	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護に関する場面を、介護現場で使用する言葉に置き換えながら、相手に伝えることを目的とする。また、介護福祉士としての意欲を高め、利用者に対しての接し方(コミュニケーションや利用者に対して注意すること)を学ぶ。	オリジナルテキストp10 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	身近な生活の場合の日本語②	
		細目レベル	接続詞について意識し、日常生活の中で動作に関する言い回しの基礎を固める。 1. イラストの中にある「単語」が列記されているので、その「単語」を使って「主語+述語」を意識した文章を作り、自己学習ノートに記入する。 2. ペアワークとして、自分が作った文章をペアの相手に口頭で説明する。相手は聞いた内容を自分のノートに記入し、終了後に間違いがあったかどうか確認しあう。 3. 前項1で作成した文章を、過去形の文章に変換する。作った文章を各自発表する。 4. 前項3で作成した過去形の文章に、修飾語を加え、より詳しい説明を行う文章に変換する。また作成した文章をつなげ、使用したイラスト全体を説明する文章を作成する。作った文章を各自発表する。	
		5キーワード	食事介助、障害者、咀嚼、QOL、文章表現	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	「食事」に関する漢字書き取りを行い、教科書を見なくても書けるように練習する。食事介助時に気を付けることを5つ以上ノートに書いてくる。	

3	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉現場で使用される食事関係の単語・長文を取り扱う。	オリジナルテキストp13 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉現場で使用されている単語の理解①	
		細目レベル	介護現場で使用される単語を使った言葉の意味や漢字を理解する。 このコマでは「食事」について取り上げる。 1. 利用者や介護者が描かれているイラストを見て、その状況を説明する文章を作り、自己学習ノートに記入する。その後、各自が一つずつ発表する。 2. 前項1で作成した文章を、列記した「介護用語」を用いて書き直す、また新しい文章を作ってみる。その後、各自が一つずつ発表する。 3. まず食事の場面の情景を記した長文を読む。 ①食事介助の際の声かけをイメージして文章にまとめる。 作った文章は各自発表。 ②次に、数人のグループになり、一つのテーマについて考え、意見を交換、グループの意見としてまとめ、発表。 ＜テーマは咀嚼に時間がかかる介護者に対する食事介助。 まず、学生に自由に考えさせる＞ ③最後に介護福祉士になった自分をイメージして、食事介助の際、どんなことに注意して介助したいか作文させる。作った文章は各自発表。 4. 時間があれば、食事に関する漢字(単語)20個の書き取りや意味を調べる。	
		5キーワード	食事介助、障害者、咀嚼、QOL、文章表現	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	「食事」に関する漢字書き取りを行い、書ける漢字のボリュームを増やす	
4	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉現場で使用される整容に関する単語・長文を取り扱う。	オリジナルテキストp19 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉現場で使用されている単語の理解②	
		細目レベル	介護現場で使用される単語を使った言葉の意味や漢字を理解する。 このコマでは「身じたく」について取り上げる。 1. 整容について、日常会話で使われる日本語で書かれた文を、介護現場で使用される語句を用いて書き直す。また整容行動で問われる数値についてもここで触れる。 2. 口腔ケアの目的、内容、また義歯の取扱いについて、用語の穴埋め問題による漢字の習得を図る。 3. 衣服着脱についてはイラストを元に、脱健着患や着脱しやすい衣類選びのポイントなどを、グループワークで考えさせ、発表させる。 4. QOLを意識した、利用者の症状別による介助における留意点について考える。	
		5キーワード	整容、口腔ケア、義歯、衣類着脱、QOL	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	整容行動に関係する漢字の書き取りを数多くこなす	

5	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉現場で使用される入浴関係の単語・長文を取り扱う。	オリジナルテキストp22 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉現場で使用されている単語の理解③	
		細目レベル	介護現場で使用される単語を使った言葉の意味や漢字を理解する。 このコマでは「入浴・清潔保持」について取り上げる。 1. 入浴介助について、入浴前、入浴中、入浴後の注意事項について、穴埋め問題をもとに理解を深める。特にヒートショック、血圧、血管などについて気温、湯温との関係についても触れる。 2. 利用者の状態・状況に応じた入浴介助の注意点について、状態・状況と、注意点を列記し、線で結ばせる課題を通じてセットで覚える。 3. イラストをもとに、全身清拭の手順を「部位名」で記入させる。 あわせて各部位の清拭時に留意すべきポイントは穴埋め問題をもとに理解を深める。 4. 片麻痺のある利用者(疾病もあり)の入浴介助に関する長文を読み、気を付けることを文章にまとめる。まとめた文章はグループで話し合い、発表する。 時間があれば、入浴に関する漢字の書き取り、語句の意味を調べ、自己学習ノートにまとめる。	
		5キーワード	清潔保持、入浴効果、ヒートショック、清拭、血圧	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	入浴介助の基本(手順)について、復習しておく	
6	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉現場で使用される移動・移乗の単語、長文を取り扱う。	オリジナルテキストp28 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉現場で使用されている単語の理解④	
		細目レベル	介護現場で使用される単語を使った言葉の意味や漢字を理解する。 このコマでは「移動・移乗」について取り上げる。 1. 利用者や介護者が描かれているイラストを見て、その状況を説明する文章を作り、自己学習ノートに記入する。その後、各自が一つずつ発表する。 ⇒患側が左であることに気づいた文章が書けるかどうかをチェック 2. 次に前項1で作成した文章を、列記した「介護用語」を用いて書き直す、また新しい文章を作ってみる。その後、各自が一つずつ発表する。 3. 視覚障害者の移動(歩行)介助のイラストを見て、介助において気を付けるべきことを考えさせる。その際、「介助する際の姿勢」「狭い通路の移動」「タクシー、バスの乗降」などをイメージして文章を作る。作った文章は各自が一つずつ発表する。 4. 車いすを利用した移動介助をテーマとし、外出時の介助に関して学生に考えさせる。 ①起床時の介助～外出先に到着するまでの支援、介助内容を順番通りに文章にして並べる。 ②外出時、目的地までの道のりにおける危険、注意事項などをイメージさせ、文章にする。 最初は一人で考え、次にグループの意見としてまとめ、発表。 5. 時間があれば、移動・移乗に関する漢字(単語)30個の書き取りや意味を調べる。	
		5キーワード	杖歩行、車いす、体位、階段昇降、歩行誘導	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	移動・移乗介助の基本(手順)について、復習しておく	

7	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉現場で使用される排泄関係の単語、長文を取り扱う。	オリジナルテキストp35 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉現場で使用されている単語の理解⑤	
		細目レベル	介護現場で使用される単語を使った言葉の意味や漢字を理解する。 このコマでは「排泄」について取り上げる。 1. 排泄行為について、介助時の利用者の心理状態について考え、自分の考えを文章でまとめる。 (羞恥心について考え、利用者の心情に思いを寄せ、介護士としてどう支援できるかをまとめる) まとめた考えを各自発表する。 2. ポータブルトイレ、尿器、差し込み便器の使用法、および使用時の注意点について、穴埋め問題を使用し、漢字で記入する。 3. おむつ交換、及び清拭の手順、方法について、イラストを見ながら説明文を書く。各自が自己学習ノートに記入したのち、グループで確認を行う。その後、グループで発表を行う。 4. 便秘・下痢の予防法について、それぞれ3つずつ自己学習ノートに記入させる。記入後、発表を行う。 ※導尿、洗腸については、語句と説明文を線でつなぐ方法で学習させる。 時間があれば排泄にかかわる漢字の書きとりを行う。	
		5キーワード	ADL、ポータブルトイレ、尿器、おむつ、スタンダード・プリコーション	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	「排泄」に関する漢字書き取りを行い、語彙を増やす	
8	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉現場で使用される家事、睡眠に関する単語、長文を取り扱う。	オリジナルテキストp43 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉現場で使用されている単語の理解⑥	
		細目レベル	1. 睡眠の理解について、睡眠の種類、睡眠の働き、特徴、イラストを使ってまとめる。また朝明障害について、その特徴を理解する 2. 代表的な天然繊維と化学繊維の名称、長所、短所を選択肢から選んで表を完成させる。 自己学習ノートに記入し、発表する。 3. 安眠できる環境として、食事、寝具、環境などについてまとめ、自己学習ノートにまとめる。その後、グループになり意見交換後、グループの意見としてまとめ、発表を行う。 5. 時間があれば、家事、睡眠に関する漢字(単語)20個の書き取りや意味を調べる。	
		5キーワード	食生活、栄養素、繊維、消費者問題、安眠	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	「家事」「睡眠」「家計管理」に関する漢字書き取りを行い、語彙を増やす	
9	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	日本介護福祉士会倫理綱領等について定められている内容を取り扱う。	オリジナルテキストp47 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉士の理念①	
		細目レベル	1. 介護福祉士に求められる理念を理解するとともに、関連する語句の漢字が書きとれるようにする。 ①「日本介護福祉士会倫理綱領」における7つのポイントを文章で読み、ひらがなで書かれた箇所を漢字に書き直す。 ②利用者の権利と人権についての説明と、介護福祉士の取るべき態度について文章を読み、ひらがなで書かれた箇所を漢字に書き直す。 2. 時間があれば、法律の条文や権利等に関する漢字の書き取りを行う。	
		5キーワード	日本介護福祉士会、倫理、人権、虐待、法令	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	意味が分からない漢字や言葉をノートに書く。本コマで学習した内容を復習する。	

10	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護福祉士として求められる視点について長文や事例を基に取り扱う。	オリジナルテキストp51 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護福祉士の理念②	
		細目レベル	1. 自立支援、個別ケアについて、自立支援の介助に関するケーススタディの長文(イラスト付)を読み、それが生活の質の向上とどう関わっているかについて自分の意見をまとめ、自己学習。ノートにまとめる。その後、発表する。 2. 例題をもとに、ICFの視点から「生活機能」と「背景因子」の表にまとめてみる。そして、ある側面を変えることで、どのような行動の変化が現れるか想像し、自己学習ノートにまとめる。 3. 長文の中から、QOLに関する記述(送りたい生活、利用者の意思の尊重、自己選択/自己決定)を読み解き、下線を引く。 4. エンパワメントアプローチ、インフォームド・コンセント、ノーマライゼーションの3つについて、説明文を作成し、自己学習ノートにまとめる。	
		5キーワード	自立、QOL、ICF、エンパワメントアプローチ、インフォームド・コンセント	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した内容を復習する。	
11	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護の基礎的な用語として、食事場面で用いられる用語を取り扱う。	オリジナルテキストp55 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護表現・用語への変換①	
		細目レベル	1. 食事について利用者の状況、意思等の説明をまとめた具体的な事例をもとに、手順をまとめていく。その過程で、介護用語が正しく書けているか、意味を理解できているかなどのチェックを行う。 2. 利用者の状況説明文を読み、「食事」の介助、支援において気をつけるポイントをピックアップし、「食事」の流れ(支援、介助の手順)を文章に、自己学習ノートにまとめる。 3. 日本の食事、食器、箸使いのマナーについて理解する。また食事解除の演習を行う。	
		5キーワード	食事、介助、日常生活動作、麻痺、自立支援	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。また本コマで学習した内容を復習する。	
12	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護の基礎的な用語として、整容場面で用いられる用語を取り扱う。	オリジナルテキストp59 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護表現・用語への変換②	
		細目レベル	1. 利用者の状況、意思等の説明をまとめた具体的な事例をもとに、手順をまとめていく。その過程で、介護用語が正しく書けているか、意味を理解できているかなどのチェックを行う。 2. 利用者の状況説明文を読み、「整容行動」の介助、支援において気をつけるポイントをピックアップし、「整容行動」の流れ(支援、介助の手順)を文章に、自己学習ノートにまとめる。 3. 問題4を解き、整容行動の気を付けたいポイントを話し合う。	
		5キーワード	清拭、洗髪、髭剃り、ドライヤー、爪切り	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。また本コマで学習した内容を復習する。	
13	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護の基礎的な用語として、入浴場面で用いられる用語を取り扱う。	オリジナルテキストp61 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護表現・介護用語への変換③	
		細目レベル	1. 利用者の状況、意思等の説明をまとめた具体的な事例をもとに、手順をまとめていく。その過程で、介護用語が正しく書けているか、意味を理解できているかなどのチェックを行う。 2. 利用者の状況説明文を読み、「入浴」の介助、支援において気をつけるポイントをピックアップし、「入浴」の流れ(支援、介助の手順)を文章に、自己学習ノートにまとめる。 3. 問題5を解き、入浴介助の時に気を配ることを書き出し、意見交換を行う。	
		5キーワード	入浴効果、手浴、足浴、ヒートショック、健側/患側	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。また本コマで学習した内容を復習する。	

14	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護の基礎的な用語として、移動・移乗場面で用いられる用語を取り扱う。	オリジナルテキストp63 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護表現・介護用語への変換④	
		細目レベル	1. 利用者の状況、意思等の説明をまとめた具体的な事例をもとに、手順をまとめていく。その過程で、介護用語が正しく書けているか、意味を理解できているかなどのチェックを行う。 2. 利用者の状況説明文を読み、「移動、移乗」の介助、支援において気をつけるポイントをピックアップし、「移動、移乗」の流れ(支援、介助の手順)を文章に、自己学習ノートにまとめる。 3. 体位について、漢字で書けるように練習する。	
		5キーワード	歩行支援用具、三動作歩行、階段上り/下り、段差越え、立ち上がり	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。また本コマで学習した内容を復習する。	
15	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護の基礎的な用語として、排泄場面で用いられる用語を取り扱う。	オリジナルテキストp66 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護表現・介護用語への変換⑤	
		細目レベル	1. 利用者の状況、意思等の説明をまとめた具体的な事例をもとに、手順をまとめていく。その過程で、介護用語が正しく書けているか、意味を理解できているかなどのチェックを行う。 2. 利用者の状況説明文を読み、「排泄」の介助、支援において気をつけるポイントをピックアップし、「排泄」の流れ(支援、介助の手順)を文章に、自己学習ノートにまとめる。 3. 問題9の演習を行い、グループで考えを出し、発表を行う。	
		5キーワード	排泄用具、容器による排尿、差し込み便器の介助、おむつ交換、ストーマ	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。また本コマで学習した内容を復習する。	
16	介護の基礎的な用語	シラバスとの関係	介護の基礎的な用語として、家事、睡眠場面で用いられる用語を取り扱う。	オリジナルテキストp69 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護表現・介護用語への変換⑥	
		細目レベル	1. 利用者の状況、意思等の説明をまとめた具体的な事例をもとに、手順をまとめていく。その過程で、介護用語が正しく書けているか、意味を理解できているかなどのチェックを行う。 2. 5大栄養素について、その働き、特徴、また代表的な食品について、表、選択肢、イラストを使ってまとめる 3. 「家事」「睡眠」の理解、支援において気をつけるポイントをピックアップし、支援、介助の内容や手順がある場合には手順を文章にし、自己学習ノートにまとめる。	
		5キーワード	家計収支、栄養素、調理、洗濯、消費者保護	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。また本コマで学習した内容を復習する。	
17	介護実務の表現①	シラバスとの関係	食事場面で頻繁に使用されている文章表現を取り扱う。	オリジナルテキストp78 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で頻繁に使用される文章表現の理解①	
		細目レベル	1. 介護の場面(食事)に関するイラストと文章から、介護現場で用いられる言葉に置き換えられる力を身につける。 2. 食事の場面に関するイラストと一般的な言葉を使用した文章から、介護現場で使われる語句へ変換して、文章を整理する。 ①文章の中から、介護用語に変換できる語句をピックアップ ②介護用語に置き換えたのちに文章を整理し、どのような場面かについて説明文を作成し、発表を行う。 3. 次にグループを作り、1で作成した文章を参考に、新たな食事の場面を想像して文章を作る。 →食事介助の場面で使われる言葉であれば、どの言葉を使って場面を作るかについては自由。 4. グループごとに発表を行い、介護用語やその使い方に間違いがないかどうかを確認する。	
		5キーワード	食事介助、食事形態、水分補給、誤嚥、嚥下	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	普段の言葉を介護福祉現場で使う言葉に変えてノートに思いっくまま書いてくる。	

18	介護実務の表現①	シラバスとの関係	整容場面で頻繁に使用されている文章表現を取り扱う。	オリジナルテキストp80 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で頻繁に使用される文章表現の理解②	
		細目レベル	<p>介護の場面(整容行動助介)に関するイラストと文章から、介護現場で用いられる言葉に置き換えられる力を身につける。</p> <p>1. 整容行動の場面に関するイラストと一般的な言葉を使用した文章から、介護現場で使われる語句へ変換して、文章を整理する。 ①文章の中から、介護用語に変換できる語句をピックアップ ②介護用語に置き換えたのちに文章を整理し、どのような場面かについて説明文を作成し、発表を行う。</p> <p>2. 次にグループを作り、1で作成した文章を参考に、新たな整容行動の場面を想像して文章を作る。 ⇒整容行動助介の場面で使われる言葉であれば、どの言葉を使って場面を作るかについては自由。</p> <p>3. グループごとに発表を行い、介護用語やその使い方に間違いがないかどうかを確認する。</p>	
		5キーワード	整容、整髪、身支度、髭剃り、化粧	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	普段の言葉を介護福祉現場で使う言葉に変えてノートに思いのまま書いてくる。	
19	介護実務の表現①	シラバスとの関係	入浴助介の場面で頻繁に使用されている文章表現を取り扱う。	オリジナルテキストp82 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で頻繁に使用される文章表現の理解③	
		細目レベル	<p>介護の場面(入浴助介)に関するイラストと文章から、介護現場で用いられる言葉に置き換えられる力を身につける。</p> <p>1. 入浴の場面に関するイラストと一般的な言葉を使用した文章から、介護現場で使われる語句へ変換して、文章を整理する。 ①文章の中から、介護用語に変換できる語句をピックアップ ②介護用語に置き換えたのちに文章を整理し、どのような場面かについて説明文を作成し、発表を行う。</p> <p>2. 次にグループを作り、1で作成した文章を参考に、新たな入浴の場面を想像して文章を作る。 ⇒入浴助介の場面で使われる言葉であれば、どの言葉を使って場面を作るかについては自由。</p> <p>3. グループごとに発表を行い、介護用語やその使い方に間違いがないかどうかを確認する。</p>	
		5キーワード	入浴助介、特殊浴槽、個人浴槽、自立支援、バイタルサイン	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	普段の言葉を介護福祉現場で使う言葉に変えてノートに思いのまま書いてくる。	
20	介護実務の表現①	シラバスとの関係	移動助介の場面で頻繁に使用されている文章表現を取り扱う。	オリジナルテキストp84 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で頻繁に使用される文章表現の理解④	
		細目レベル	<p>介護の場面(移動助介)に関するイラストと文章から、介護現場で用いられる言葉に置き換えられる力を身につける。</p> <p>1. 移動の場面に関するイラストと一般的な言葉を使用した文章から、介護現場で使われる語句へ変換して、文章を整理する。 ①文章の中から、介護用語に変換できる語句をピックアップ ②介護用語に置き換えたのちに文章を整理し、どのような場面かについて説明文を作成し、発表を行う。</p> <p>2. 次にグループを作り、1で作成した文章を参考に、新たな移動の場面を想像して文章を作る。 ⇒移動助介の場面で使われる言葉であれば、どの言葉を使って場面を作るかについては自由。</p> <p>3. グループごとに発表を行い、介護用語やその使い方に間違いがないかどうかを確認する。</p>	
		5キーワード	移動、移乗、車いす、スライディングボード、リフト	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	グループで話し合ったことを、漢字を使ってノートに書いてくる。	

21	介護実務の表現①	シラバスとの関係	排泄介助の場面で頻りに使用されている文章表現を取り扱う。	オリジナルテキスト 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で頻りに使用される文章表現の理解⑤	
		細目レベル	<p>介護の場面(排泄介助)に関するイラストと文章から、介護現場で用いられる言葉に置き換えられる力を身につける。</p> <p>1. 排泄介助の場面に関するイラストと一般的な言葉を使用した文章から、介護現場で使われる語句へ変換して、文章を整理する。 ①文章の中から、介護用語に変換できる語句をピックアップ ②介護用語に置き換えたのちに文章を整理し、どのような場面かについて説明文を作成し、発表を行う。</p> <p>2. 次にグループを作り、1で作成した文章を参考に、新たな排泄介助の場面を想像して文章を作る。 ⇒排泄介助の現場で使われる言葉であれば、どの言葉を使って場面を作るかについては自由。</p> <p>3. グループごとに発表を行い、介護用語やその使い方に間違いがないかどうかを確認する。</p>	
		5キーワード	排泄介助、トイレ誘導、おむつ交換、自立支援、個別ケア	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	グループで話し合ったことを、漢字を使ってノートに書いてくる。	
22	介護実務の表現①	シラバスとの関係	実習記録の読み方、書き方について取り扱う。	オリジナルテキストp89 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	実習記録の読み方、書き方①	
		細目レベル	<p>介護実習の目的を理解し、実習場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする。</p> <p>1. 実習記録(サンプルケース1)を読み、自分の言葉で要約をおこなう。 要約について、グループ内で説明しあい、グループとして発表をおこなう。</p> <p>2. 要約に基づき、介護実務に求められる表現方法に置き換える。置き換えた文章については、個人で発表をおこなう。 間違い箇所については、自己学習ノートに書き留める。</p> <p>3. 実際に実習記録を作成し、記録の取り方や方法を理解する。</p> <p>※介護用語に関する漢字が多く出てくるため、書けない漢字についてはマーカー等を用いてチェックを行い、書ける(読める)ようにしておく。</p>	
		5キーワード	文章を書くときの決まり、意味の分からない言葉漢字を調べる、丁寧に書く、何を書くか、敬体と常体	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	
23	介護実務の表現①	シラバスとの関係	実習記録の読み方、書き方について取り扱う。	オリジナルテキストp95 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	実習記録の読み方、書き方②	
		細目レベル	<p>介護の場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする。</p> <p>1. 実習オリエンテーションを学び、実習前の準備の必要性を学習する。テキストを読み、自分の言葉で要約を行う。 要約について、グループ内で説明しあい、グループとして発表をおこなう。</p> <p>2. 実習個人票を実際に作成し、個人で発表をおこなう。 間違い箇所については、自己学習ノートに書き留める。</p> <p>3. 介護実習反省会記録用紙を実際に作成し、実習内容を記入、発表の練習を行う。</p> <p>※介護用語に関する漢字が多く出てくるため、書けない漢字についてはマーカー等を用いてチェックを行い、書ける(読める)ようにしておく。</p>	
		5キーワード	文章を書くときの決まり、意味の分からない言葉漢字を調べる、丁寧に書く、何を書くか、敬体と常体	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	

24	介護実務の表現①	シラバスとの関係	報告・連絡・相談の読解	オリジナルテキストp101 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	報告・連絡・相談の読解	
		細目レベル	介護現場では、様々な専門職ががチームを作り、業務を行っているため、この節では、介護現場における「報告、連絡、相談」の話し方と方法を学習する。 介護の現場での「報告・連絡・相談」の文章(事例)を読み、その内容について理解する。ここではロールプレイングも取り入れ、理解を深める。 1. グループを作り、それぞれに役割を振る。(現場の介護福祉士、利用者のご家族、職場の上司など) 2. 介護福祉士の担当が介護現場の状況事例サンプル文を読み、どのようなことが起きているかについて、自己学習ノートに要約をまとめる。 3. 要約を元に、報告・連絡・相談する相手にその内容を伝える。 伝えられた相手は、その内容を自己学習ノートにまとめる。 4. 介護福祉士の担当以外が内容をまとめ、介護福祉士の担当者が伝えたかったこと 通りかどうか確認を行う。 5. 1～4までの流れを、順番にまわしていく。	
		5キーワード	報告 連絡 相談 5W1H	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	
25	介護実務の表現①	シラバスとの関係	介護現場で頻繁に使用される言葉を理解し、書く練習を行う	オリジナルテキストp106 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で使用する用語①	
		細目レベル	介護の場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする。 1. 介護現場で使用される50の単語の読み方と意味を覚える。 2. 分からない単語は、グループで話し合い、解決する活動を行う。 ※介護用語に関する漢字が多く出てくるため、書けない漢字についてはマーカー等を用いてチェックを行い、書ける(読める)ようにしておく。	
		5キーワード	文章を書くときの決まり、意味の分からない言葉漢字を調べる、丁寧に書く、何を書くか、敬体と常体	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	
26	介護実務の表現①	シラバスとの関係	介護現場で頻繁に使用される言葉を理解し、書く練習を行う	オリジナルテキストp111 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で使用する用語②	
		細目レベル	介護の場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする。 1. 介護現場で使用される50の単語の読み方と意味を覚える。 2. 分からない単語は、グループで話し合い、解決する活動を行う。 ※介護用語に関する漢字が多く出てくるため、書けない漢字についてはマーカー等を用いてチェックを行い、書ける(読める)ようにしておく。	
		5キーワード	文章を書くときの決まり、意味の分からない言葉漢字を調べる、丁寧に書く、何を書くか、敬体と常体	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	
27	介護実務の表現①	シラバスとの関係	介護現場で頻繁に使用される言葉を理解し、書く練習を行う	オリジナルテキストp113 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で使用する用語③	
		細目レベル	介護の場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする。 1. 介護現場で使用される50の単語の読み方と意味を覚える。 2. 分からない単語は、グループで話し合い、解決する活動を行う。 ※介護用語に関する漢字が多く出てくるため、書けない漢字についてはマーカー等を用いてチェックを行い、書ける(読める)ようにしておく。	
		5キーワード	文章を書くときの決まり、意味の分からない言葉漢字を調べる、丁寧に書く、何を書くか、敬体と常体	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	

28	介護実務の表現①	シラバスとの関係	介護現場で頻繁に使用される言葉を理解し、書く練習を行う	オリジナルテキストp116 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護現場で使用する用語④	
		細目レベル	介護の場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする。 1. 介護現場で使用される50の単語の読み方と意味を覚える。 2. 分からない単語は、グループで話し合い、解決する活動を行う。 ※介護用語に関する漢字が多く出てくるため、書けない漢字についてはマーカー等を用いてチェックを行い、書ける(読める)ようにしておく。	
		5キーワード	文章を書くときの決まり、意味の分からない言葉漢字を調べる、丁寧に書く、何を書くか、敬体と常体	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した実習記録の内容を見直し、漢字間違いなどを確認する。	
29	介護実務の表現②	シラバスとの関係	食事の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp120 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解①	
		細目レベル	介護場面(食事)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また食事の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「食事介助」の場면을事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、食事介助の際に、「個別ケア」のポイントになると思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	食事、リスクマネジメント、食事介助、誤嚥、嚥下・咀嚼	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	食事介助の時に、予想されるリスクをノートに、書き出しておく。また本コマで学んだ内容を復習させる。	
30	介護実務の表現②	シラバスとの関係	整容の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp126 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解②	
		細目レベル	介護場面(整容行動)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また整容行動の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「整容行動介助」の場면을事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、整容行動介助の際に、「個別ケア」のポイントになると思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	整容、リスクマネジメント、身支度、整髪、髭剃り	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	整容で予想されるリスクをノートに書き出しておく。また本コマで学んだ内容を復習させる。	

31	介護実務の表現②	シラバスとの関係	入浴の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp132 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解③	
		細目レベル	介護場面(入浴)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また入浴の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「入浴介助」の場面を事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、入浴介助の際に、「個別ケア」のポイントになるとと思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	入浴、リスクマネジメント、入浴介助、特殊浴槽、個人浴槽	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	入浴介助で予想されるリスクをノートに書き出しておく。本コマで学んだ内容を復習させる。	
32	介護実務の表現②	シラバスとの関係	移動の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp139 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解④	
		細目レベル	介護場面(移動)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また移動の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「移動介助」の場面を事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、移動介助の際に、「個別ケア」のポイントになるとと思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	移動介助、移乗介助、リスクマネジメント、車いす、スライディングボード	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	移動で予想されるリスクをノートに書き出しておく。本コマで学んだ内容を復習させる。	
33	介護実務の表現②	シラバスとの関係	排泄介助の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp145 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解⑤	
		細目レベル	介護場面(排泄)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また排泄の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「排泄介助」の場面を事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、排泄介助の際に、「個別ケア」のポイントになるとと思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	排泄介助、リスクマネジメント、トイレ誘導、状態観察、おむつ交換	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	移動、排泄の時に心がけることノートに書き出しておく。本コマで学んだ内容を復習させる。	

34	介護実務の表現②	シラバスとの関係	家事・睡眠の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp149 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解⑥	
		細目レベル	介護場面(家事・睡眠)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また家事・睡眠の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「家事支援」「睡眠」の場面を事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、家事介助・睡眠介助の際に、「個別ケア」のポイントになると思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	家事支援、睡眠、訪問介護員、リスクマネジメント、起床・就寝介助	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	家事支援の時は、何を注意するのかをノートに書き出しておく。また本コマで学んだ内容を復習させる。	
35	介護実務の表現②	シラバスとの関係	終末期の場面でのリスクマネジメントや事例について取り扱う。	オリジナルテキストp156 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	様々な場面での配慮、個々に応じた支援内容の理解⑦	
		細目レベル	介護場面(終末期)における利用者と介護福祉職間の動作について、利用者の個別の事情に対するケアを主眼に文章を作成する。 また終末期介助の際のリスクマネジメントについて、想定されるリスクや対応策についても日本語で理解し、文章にする。 1. 「終末期介助」の場面を事例として取り上げたイラストと説明文を読み、「利用者の状態」「介護福祉職のケアすべきポイント」について自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 ⇒個別ケアの視点を意識すること。 2. 具体的な介助の手順について、自己学習ノートに記述し、発表を行う。 3. 介助の際に想定しうるリスクについて列記し、その防止策とあわせて自己学習ノートにまとめ、発表を行う。 4. 時間があれば、「終末期介助」の際に、「個別ケア」のポイントになると思われる項目を自己学習ノートにまとめる。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	終末期、リスクマネジメント、多職種連携、家族、利用者	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	終末期の利用者に対して、何を心がけるのか、自分の気持ちをノートに書き出しておく。本コマで学んだ内容を復習させる。	
36	介護実務の表現②	シラバスとの関係	生活支援技術について事例をもとに理解を深めるものとして取り合う。	オリジナルテキストp161 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	生活支援技術の理解、介護のプロセス①	
		細目レベル	生活支援技術のうち、移乗、移動介助、またベッド上での介助、立位に関する動作、支援方法について考え、日本語で説明できるようにする。 1. 車いす/車への移乗における、自立/一部介助/全部介助/移動用リフトでの移乗について、イラストを見ながらその手順について文章にまとめる。 2. ベッド上での水平/上方移動、起き上がり等の支援方法について、その手順について、イラストを見ながら文章にまとめる。 3. 車いすでの走行、電車での移動介助について、イラストを見ながらその手順について文章をまとめる。 4. 事例をもとに、支援方法を自分で考え、自己学習ノートにまとめる。まとめた事例は後で発表を行う。 5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	ボディメカニクスの原則、移乗、移動、ベッド上での介助、立位介助	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	移乗のリスクをノートに書き出しておく。本コマで学習した生活支援技術の内容を再度確認しノートにまとめる。	

37	介護実務の表現②	シラバスとの関係	生活支援技術について事例をもとに理解を深めるものとして取り合う。	オリジナルテキストp172 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	生活支援技術の理解、介護のプロセス②	
		細目レベル	生活支援技術のうち、食事、入浴介助に関する動作、支援方法について考え、日本語で説明できるようにする。 1. 事例をもとに、食事に関する介助について、イラストと文章をもとに支援方法とその手順について文章にまとめる。 2. 入浴に関する介助について、「補助具を使った入浴」「手浴・足浴・洗髪」「清拭」について、イラストを見ながらその手順を文章にまとめる。 3. 入浴に関する事例をもとに、支援方法を自分で考え、自己学習ノートにまとめる。まとめた事例は後で発表を行う。 4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	ボディメカニクスの原則、食事介助、入浴介助、自立支援、尊厳	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した生活支援技術の内容を再度確認しノートにまとめる。	
38	介護実務の表現②	シラバスとの関係	生活支援技術について事例をもとに理解を深めるものとして取り合う。	オリジナルテキストp178 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	生活支援技術の理解、介護のプロセス③	
		細目レベル	生活支援技術のうち、排泄介助に関する動作、支援方法について考え、日本語で説明できるようにする。 1. ポータブルトイレを使用した排泄介助について、イラストを見ながらその手順について文章にまとめる。 2. 尿器、また差し込み便器を使った排泄介助について、イラストを見ながらその手順について文章にまとめる。 3. おむつ交換の手順について、イラストを見ながら文章をまとめる。 4. ストーマを使った排泄介助について、ポイントをまとめる。 5. 事例をもとに、排泄介助の際の手順を文章化し、発表する。 6. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	排泄介助、ポータブルトイレ、尿器・差し込み便器、おむつ交換、ストーマ	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した生活支援技術の内容を再度確認しノートにまとめる。	
39	介護の背景表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、介護の基本疾患について取り扱う。	オリジナルテキストp183 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護の代表的な疾患の理解①	
		細目レベル	「高齢者にみられる主な症候・リスク」「身体機能の老化」などをまとめた表を元に、様々な症候やリスクについて概要を把握する。 次に介護における脳疾患のうち、脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血を日本語で理解し、文章で説明できるようにする。 1. 疾患の症状を日本語で説明できるよう、イラストを見て、短い文章を書くことから始め、それをつないで説明文を作成する。 ※学生に求める疾患の説明文例レベルとしては、以下の通り。 【脳梗塞】 「脳のなかにある血管が詰まってしまい、血液がながれないため、詰まった血管からその先に酸素や栄養がとどかなくなってしまいます。すると脳の一部が死んでしまい、体が動かなくなったり、言葉が話せなくなったりします」 【脳内出血(脳出血)】 「高い血圧により、脳の中の細い動脈が弱くなって、やぶけてしまうことです。この動脈は体を動かすための命令を出す脳のそばに多くあるので、出血すると頭が痛くなったり、体の右側か左側を動かすことが難しくなったりします。」 【くも膜下出血】 「脳の動脈にできた瘤(りゅう、こぶ)が破裂して出血する病気です。脳のまわりを囲んでいる3つの膜のうちの、クモ膜の動脈が破けて出血したものを言います。(※3つの膜は外側から硬膜、真ん中がクモ膜、内側が軟膜)」 2. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	脳血管障害、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳塞栓	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出して置く。本コマで学習した疾患を復習する。	

40	介護の背景 表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、介護の基本疾患について取り扱う。	オリジナルテキストp188 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護の代表的な疾患の理解②	
		細目レベル	介護における内分泌・代謝疾患のうち、糖尿病、骨粗鬆症、関節リウマチを日本語で理解し、文章で説明できるようになる。 1. 疾患の症状を日本語で説明できるよう、イラストを見て、短い文章を書くことから始め、それをつないで説明文を作成する。 【糖尿病】 臓器、血管のイラストと、糖、インスリンのイラストによる関係性を把握することで、糖尿病の説明ができるようになる。 糖尿病の症状、予防についても表にまとめ、説明できる。 【骨粗鬆症】 「年をとってカルシウムの摂取が不足したり、骨をつくるためのホルモンが不足すると、骨がスカスカ(中身が少なく)になり、骨を折ったりしやすくなります。 2. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	糖尿病、骨粗鬆症、関節リウマチ	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。	
41	介護の背景 表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、介護の基本疾患について取り扱う。	オリジナルテキストp194 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護の代表的な疾患の理解③	
		細目レベル	介護における疾患のうち、肺炎、白内障、緑内障、難聴を日本語で理解し、文章で説明できるようになる。 1. 疾患の症状を日本語で説明できるよう、イラストを見て、短い文章を書くことから始め、それをつないで説明文を作成する。 【肺炎】主に細菌やウイルス、マイコプラズマが原因であり、高齢、また他の疾患により身体の免疫力が低下し、肺に病原体が侵入して、感染することが多い。肺炎の主な症状は、せき、発熱、胸痛、痰がでる、息苦しいなど。また誤嚥により、気管に入った食物や唾液などの異物が原因で発症する肺炎は「誤嚥性肺炎」と言います。 【白内障】 (目の中でカメラのレンズの働きをする)水晶体が、主に加齢により白く濁って視力が低下する病気です。 白内障では白く濁ってしまうため、集めた光がうまく眼底に届かなくなり、視力低下、視界が全体的にかすむ、光がまぶしい等の症状が出ます。 【緑内障】 (目から入ってきた情報を脳に伝える)視神経に障害が起こり、視野欠損(見える範囲が狭くなる病気)のこです。少しずつ見える範囲が狭くなっていきます。 【難聴】 音、人の声などが聞こえにくい状態を言います。難聴には伝音性難聴(音を伝える機能の低下)と感音性難聴(音を聞き分ける機能の低下)、また2つを併せ持った混合性難聴があります。老人性難聴(加齢による難聴)は、感音性難聴に分類されます。 2. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	基礎疾患、肺炎、白内障、緑内障、難聴	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。	
42	介護の背景 表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、介護の基本疾患について取り扱う。	オリジナルテキストp199 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護の代表的な疾患の理解④	
		細目レベル	介護における疾患のうち、パーキンソン病、がん(悪性新生物)、廃用症候群を日本語で理解し、文章で説明できるようになる。 1. 各疾患の症状を日本語で説明できるよう、イラストを見て、短い文章を書くことから始め、それをつないで説明文を作成する。 【パーキンソン病】 【がん(悪性新生物)】 【廃用症候群】 機能低下と各分野の障害の関係性を表でまとめる。 【運動器障害】筋萎縮、関節拘縮、骨萎縮 【循環・呼吸器障害】心肺機能の低下、誤嚥性肺炎、血栓塞栓症 【自律神経・精神障害】うつ病【循環障害】褥瘡 2. パーキンソン病と同じく、介護保険の特定疾病に含まれる脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)については、病名と症状を結び付けられるよう、それぞれを列記し線で結ぶ。 3. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	基礎疾患、パーキンソン病、悪性新生物、廃用症候群、特定疾病	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。	

43	介護の背景 表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、身体障害について取り扱う。	オリジナルテキストp207 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	障害の理解①	
		細目レベル	<p>障害のうち、身体障害(肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語機能障害)について、日本語で理解し、文章で説明できるようになる。</p> <p>1. 各疾患の症状を日本語で説明できるよう、イラストを見て、短い文章を書くことから始め、それをつないで説明文を作成する。</p> <p>【肢体不自由】 「上肢、下肢、または体幹(胸、背、腹等)の永続的な運動機能障害の部位によって、「四肢麻痺」「体幹麻痺」「下肢麻痺」「対麻痺」「片麻痺」、及び「交叉性片麻痺」を障害ごとの症状を表にまとめる。</p> <p>【心臓機能障害、呼吸器機能障害】 器官のイラストで示した部位と選択肢を結び付け、平易な日本語から介護用語による作文が行えるようになる。</p> <p>【心臓機能障害】 主な心臓機能障害を4つ(心筋梗塞、心不全、狭心症、心房細動)の症状と原因・特徴をまとめる。</p> <p>【呼吸器機能障害】 主な呼吸器機能障害5つ(誤嚥性肺炎、肺結核、喘息、慢性閉塞肺疾患、肺がん)の原因と症状や特徴をまとめる。</p> <p>2. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。	
		シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、内部障害、精神障害について取り扱う。	
44	介護の背景 表現①	コマ主題細目	障害の理解②	オリジナルテキストp213 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		細目レベル	<p>障害のうち、内部障害(心臓機能障害、呼吸器機能障害)と精神障害(統合失調症、うつ病、アルコール依存症など)について、日本語で理解し、文章で説明できるようになる。</p> <p>1. 各疾患の症状を日本語で説明できるよう、イラストを見て、短い文章を書くことから始め、それをつないで説明文を作成する。</p> <p>【視覚障害】 白内障、緑内障については学習済のため、網膜色素変性症、視神経萎縮、糖尿病性網膜症、ペーチェット病、加齢黄斑変性について、発症の原因、主な症状を表にまとめる。 ⇒視覚障害を持つ利用者への支援について「コミュニケーション」、「移動」についてその内容を考え、自己学習ノートにまとめる。</p> <p>【聴覚障害】 聴覚障害者の分類(ろう者、難聴者、中途失聴者)ごとの障害の内容と、コミュニケーション手法を表にまとめる。</p> <p>【言語機能障害】 言語機能障害について、構音障害と失語症にわけ、さらに失語症については運動性失語と感覚性失語に分類したのち、その特徴を記したイラストを見て表にまとめる。 ⇒言語機能障害をもつ利用者への支援(コミュニケーション)についてその内容を考え、自己学習ノートにまとめ、その後発表する。</p> <p>2. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	心臓機能障害、呼吸器機能障害、統合失調症、うつ病、アルコール依存症	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。	
		シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、高次脳機能障害について取り扱う。	
		45	介護の背景 表現①	
細目レベル	<p>1. 精神障害を内因性精神障害、外因性精神障害、心因性精神障害の3つに分け、それぞれの原因や主な症状をまとめる。</p> <p>【統合失調症】 陽性、陰性それぞれの症状の特徴を説明、区分けし、表にまとめる。</p> <p>【うつ病】 うつ病の特徴についてまとめ、その対応について自己学習ノートにまとめる。またせん妄についてもうつ病同様に特徴をまとめる。</p> <p>【アルコール依存症】 平易な日本語から介護用語によるアルコール依存症の作文が行えるようになる。</p> <p>2. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>			
5キーワード	統合失調症、気分障害、知的障害、アルコール依存症、精神障害			
コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし			
資格・実務関連	介護福祉士			
復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。			
シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、高次脳機能障害について取り扱う。			

46	介護の背景表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、発達障害について取り扱う。	オリジナルテキストp222 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	障害の理解④	
		細目レベル	<p>障害のうち、高次脳機能障害(遂行機能障害、社会的行動障害、注意障害、半側空間無視)について、日本語で理解し、文章で説明できるようになる。また発達障害について、日本語で理解し、文章で説明できるようになる。</p> <p>1. 高次脳機能障害について、原因(脳の損傷)と主な損傷原因(脳血管障害、脳外傷、脳炎・脳症)を表でまとめた後で文章で自己学習ノートにまとめる。</p> <p>2. 高次脳機能障害の主な症状を4つ(遂行機能障害、社会的行動障害、注意障害、半側空間無視)にわけ、それぞれの主な症状について、日本語で自己学習ノートにまとめる。</p> <p>3. その後、高次脳機能障害をもつ利用者の行動を用いた物語を各自が作成し、発表を行う。発表に際にはどの症状かも含めて説明ができるようにする。</p> <p>4. 発達障害について、その種類【広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、学習障害】と、その特徴を日本語で箇条書きにまとめる。</p> <p>5. 発達障害のある人への支援のためのポイントを、障害ごとに各自が自己学習ノートにまとめ、その後グループで互いに説明しあう。</p> <p>6. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	高次脳機能障害、遂行機能障害、社会的行動障害、注意障害、発達障害	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	テキストの分からない漢字や言葉をノートに書き出しておく。本コマで学習した疾患を復習する。	
47	介護の背景表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、認知症関係について取り扱う。	オリジナルテキストp227 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	認知症の理解①	
		細目レベル	<p>「認知症」について、日本語で説明できるよう学習する。</p> <p>1. 「認知症とは」の説明を短く箇条書きにしたものを元に、説明文章に作り替える。(加齢による物忘れと認知症による物忘れの違いを含めて)</p> <p>2. 認知症高齢者に対する施策「介護保険制度」「認知症施策推進総合戦略」「成年後見制度」「や、自立支援、法整備等の」について、具体的な内容を平易な日本語での説明文を読んで理解する。</p> <p>またテキスト内の図を用いて、各種具体的内容を口頭で説明できるようになる。</p> <p>3. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	認知症、介護保険制度、オレンジプラン、新オレンジプラン、成年後見制度	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	認知症の歴史について復習する。	
48	介護の背景表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、認知症関係について取り扱う。	オリジナルテキストp232 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	認知症の理解②	
		細目レベル	<p>「認知症」について、日本語で説明できるよう学習する。</p> <p>1. 認知症の「中核症状」について、その症状の特徴と、特徴の説明文を列記された表の中で線で結ぶ。その後、各症状で起きることを短い文章で自己学習ノートにまとめ、発表する。</p> <p>2. 行動・心理状況について、 ・中核症状と行動/心理症状の関係性を説明できる。 ・行動・心理症状の具体例(徘徊、妄想、幻覚・幻聴、不潔行為、攻撃的行動他)の説明文から、具体例の名称を解答できる。 ⇒その後、名称から説明が行えるようにする。</p> <p>3. 長文3例を読み、その症状が「中核症状」「行動・心理症状」のどれに当てはまるかと、その理由を説明できる。解答とその理由は自己学習ノートに記入し、後ほど発表する。</p> <p>4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、中核症状、行動・心理症状、	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	認知症の4疾患について復習を行う。	

49	介護の背景 表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、認知症関係について取り扱う。	オリジナルテキストp238 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	認知症の理解③	
		細目レベル	<p>認知症原因疾患の種類・特徴を理解する。主に、アルツハイマー型認知症、血管性認知症を取り上げる。</p> <p>1. 認知症の原因疾患として代表的な4つの認知症と、その原因について、脳のイラストとあわせて学習する。あわせてその他の原因による認知症についてもその原因となるものを自己学習ノートにまとめる。⇒若年性認知症についてもここで触れておく。</p> <p>2. アルツハイマー型認知症について、男女比(女性多)、原因、初期症状、経過、末期症状、認知症における割合などを説明できるよう、自己学習ノートにまとめる。</p> <p>3. 血管性認知症について、原因、分類(発作型、緩徐型)、症状悪化の特徴、男女比(男性多)、特徴的な症状について説明できるよう、自己学習ノートにまとめる。(別の呼称も抑えておく:まだら認知症)</p> <p>4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した内容を復習する。	
50	介護の背景 表現①	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験にも使用されている、認知症関係について取り扱う。	オリジナルテキストp242 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	認知症の理解④	
		細目レベル	<p>認知症原因疾患の種類・特徴を理解する。主に、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症を取り上げ、アルコール性認知症についてもその主たる原因について触れる。</p> <p>1. レビー小体型認知症について、原因、症状の特徴(幻視)、程度の日内変動ありなどを説明できるよう、自己学習ノートにまとめる。</p> <p>2. 前頭側頭型認知症について、その特徴(代表的な若年性認知症)、男女比(ほぼ均等)、原因、行動特徴、経過などについて説明できるよう、自己学習ノートにまとめる。</p> <p>3. 前コマとあわせ、学習した認知症の名称、特徴、発症と経過、代表的な症状などについて、自己学習ノートに表でまとめる。その後、教員から指定された認知症について口頭で回答する。</p> <p>4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	本コマで学習した内容を復習する。	
51	介護の背景 表現②	シラバスとの関係	介護に関する諸制度について取り扱う。	オリジナルテキストp248 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護に関する諸制度の理解①	
		細目レベル	<p>日本の社会保障制度を取り扱い、制度の理解を深め日本語で説明する。日本の社会保障制度、社会保障のおもな4つの機能について学び、日本国憲法第25条、国民皆保険、国民皆年金などについても学習する。</p> <p>1. 日本の社会保障制度について、 ・日本国憲法とは？(概要、25条とは、生存権とは、他)について学ぶ。 ・社会保障制度とは？(変遷、社会保険の5種類、費用)について学ぶ。 ・国民皆保険、国民皆年金とは？(それぞれの狙いとは？)についてをイラスト、平易な文章で読み取り、理解を深める。</p> <p>2. 社会保障について、 ・社会保障の概念(自助、互助、共助、公助)を学ぶ。 ・主な4つの機能(生活安定/向上、所得再分配、経済安定、家族支援の考え方は?)についてをイラスト、平易な文章で読み取り、理解を深める。</p> <p>3. 変遷にともなう法令名などについて、自己学習ノートを使って漢字の書き取りを行う。</p> <p>4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。</p>	
		5キーワード	社会保障制度、自助、互助、共助、公助	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。日本の社会保障制度について復習を行う。	

52	介護の背景 表現②	シラバスとの関係	社会保障制度のうち、年金保険、医療保険について取り扱う。	オリジナルテキストp255 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護に関する諸制度の理解②	
		細目レベル	日本の社会保障制度を取り扱い、制度の理解を深め日本語で説明する。社会保険(年金保険、医療保険)について学習する。 1. 日本の年金保険制度について、 ・そもそも年金とは？(概要、目的、特徴、支給条件他)について ・障害基礎年金とは？(目的、支給要件等)について図、平易な文章で読み取り、理解を深める。 2. 日本の医療保険制度について、 ・医療保険の概要(種類、保険者、被保険者、給付)とは？ ・後期高齢者医療保険の概要(対象者、運営主体、患者負担他)について図、平易な文章で読み取り、理解を深める。 3. 年金保険、医療保険の名称を漢字での書き取りを行う。 ⇒名称の記述と合わせて、被保険者についてもセットで漢字でかけるよう練習する 4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	社会保障制度、年金保険、医療保険、保険者、被保険者	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。年金保険、医療保険について復習を行う。	
53	介護の背景 表現②	シラバスとの関係	社会保障制度のうち、雇用保険、労働者災害補償保険について取り扱う。	オリジナルテキストp260 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護に関する諸制度の理解③	
		細目レベル	日本の社会保障制度を取り扱い、制度の理解を深め日本語で説明する。社会保険(雇用保険、労働者災害補償保険)について取り上げ、学習し、介護保険との関連性についても学ぶ。 1. 日本の雇用保険制度について、 ・雇用保険の概要(目的、特徴、支給条件他)について図、平易な文章で読み取り、理解を深める。 2. 日本の労働者災害補償保険について、 ・労働者災害補償保険の概要(目的、特徴、保険者、給付)について図、平易な文章で読み取り、理解を深める。 3. 雇用保険、労働者災害補償保険と、「社会保障制度に関する通告」(1950年通告)について、イラスト、文章読解によりその関係性について理解し、自己学習ノートに要点をまとめる。その後、発表を行う。 4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。	
		5キーワード	社会保障制度、雇用保険、労働者災害補償保険、保険者、被保険者	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。雇用保険、労働者災害補償保険について復習を行う。	
54	介護の背景 表現②	シラバスとの関係	介護保険制度について取り扱う。	オリジナルテキストp264 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護保険制度のサービスの理解①	
		細目レベル	介護保険制度に関するサービスを理解し、日本語で理解する。介護保険に関わる法律、また法制度の動向をおさえ、介護保険制度の基礎的な仕組みを学ぶ。(保険者/被保険者、介護サービス利用までの流れ等) 1. 介護保険制度について、 介護保険制度創設の背景(特徴、創設目的、法律、制度の変遷他)について、表をもとに理解を深め、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。 2. 介護保険法改正におけるポイント(おもにトピック)について、図(変遷図)や解説をもとに理解を深め、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。 3. 介護保険制度のしくみ(保険者/被保険者、介護サービス利用までの流れ、要介護認定を受ける際の特定疾病16、保険料徴収)について、図(仕組み図)、解説をもとに理解し、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。 4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。 ※4文字以上の語句については、自己学習ノートにて漢字の書き取り練習を行う。	
		5キーワード	介護保険制度、保険者、被保険者、介護サービス、要介護・要支援	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。介護保険制度のサービスについて復習を行う。	

55	介護の背景表現②	シラバスとの関係	介護保険制度のサービス(居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス)について取り扱う。	オリジナルテキストp271 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	介護保険制度のサービスの理解②	
		細目レベル	<p>・介護保険制度に関するサービスを理解し、日本語で理解する。介護サービスの種類(居宅、施設、地域密着型)と、その中身について学習する。</p> <p>1. 介護保険のサービス(保険給付)の種類(介護給付、予防給付、市町村特別給付)の内容について、その対象者(要介護、要支援、またはその両方)、支援内容(サービス内容、給付)について、イラストや解説をもとに理解を深め、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>2. 居宅サービスの詳細(訪問、通所、入所、機器/用具貸与・販売)について、図をもとに理解し、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>3. 施設サービス(福祉施設、保健施設、医療院)について、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>4. 地域密着型サービス(特徴、他のサービスとの違い)について、図(仕組み図)、解説をもとに理解し、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>5. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。 ※紛らわしい語句については、語句を分解して自己学習ノートにて漢字の書き取り練習を行う。</p>	
		5キーワード	介護保険制度、居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、利用者	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。介護保険の居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービスについて復習を行う。	
56	介護の背景表現②	シラバスとの関係	障害福祉に関する項目を取り扱う。	オリジナルテキストp283 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	障害福祉のサービスに関する理解①	
		細目レベル	<p>・障害者総合支援法に関するサービスを理解し、日本語で説明することができる。障害福祉サービスの種類・内容について、介護給付を取り上げて学習する。</p> <p>1. 障害者総合支援法の概要(制定までの変遷、背景、ポイント)について、図や解説をもとに理解を深め、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>2. 障害福祉サービスの「介護給付」について、9つのサービス内容の名称、サービス内容についてまとめたイラストと解説をもとに理解し、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>3. 介護給付のサービス名称と内容について解説した穴埋め文章に、選択肢の中から語句を選び、当てはめることで理解度の確認を行う。</p> <p>4. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。 ※紛らわしい語句については、語句を分解して自己学習ノートにて漢字の書き取り練習を行う。</p>	
		5キーワード	障害者、障害児、障害者総合支援法、介護給付、障害支援区分	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。障害者総合支援法の制度について復習を行う。そして、介護給付について調べる。	
57	介護の背景表現②	シラバスとの関係	障害福祉に関する項目を取り扱う。	オリジナルテキストp289 自作プリント PowerPoint プロジェクター スクリーン
		コマ主題細目	障害福祉のサービスに関する理解②	
		細目レベル	<p>・障害者総合支援法に関するサービスを理解し、日本語で説明することができる。障害福祉サービスの種類・内容について、訓練等給付、自立支援医療の一部を取り上げて学習する。</p> <p>1. 障害福祉サービスの「訓練等給付」について、4つのサービス内容(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、共同生活援助)の名称、サービス内容についてまとめたイラストと解説をもとに理解し、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>2. 障害福祉サービスの「自立支援医療」における「〇〇」について、そのサービス内容の名称、サービス内容についてまとめた解説をもとに理解し、日本語で説明文が書けるよう自己学習ノートにまとめる。</p> <p>3. 国家試験(過去問題)を解き、正解・不正解の理由を確認して発表する。 ※紛らわしい語句については、語句を分解して自己学習ノートにて漢字の書き取り練習を行う。</p>	
		5キーワード	障害者、障害児、障害者総合支援法、訓練等給付、自立支援医療	
		コマ要素	<input type="checkbox"/> 実務連携 <input type="checkbox"/> 理解度確認テスト <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル教材 <input type="checkbox"/> ICT活用 <input type="checkbox"/> 実習・実技・実験・演習 <input type="checkbox"/> 該当なし	
		資格・実務関連	介護福祉士	
		復習・予習課題	分からない漢字はノートに書き出しておく。障害者総合支援法の訓練等給付、自立支援医療について復習を行う。	

58	総合演習	シラバスとの関係	1年間で学んだ介護基礎表現、介護実務表現、介護背景表現に関する事例を取り扱う。	オリジナルテキストp299
		コマ主題細目	総合問題	
		細目レベル	<p>・1年間で習得した介護基礎表現、介護実務表現、介護背景表現を集約した総合問題を理解する。</p> <p>1. まず、教員指定の総合問題の「事例」について、重要なポイントと思われる箇所に下線を引く。 ⇒「理解できない」箇所があった場合、は黄マーカーで色付けしながら読み解き、解答を進める。 なお、解答選択肢を選ぶ際には、その理由についても記述する。</p> <p>2. 黄マーカーが引かれている箇所については、自己学習ノートに書き取り、「何についてわからないか？（語句、言い回し、また質問の主旨）」をあわせて書き込む。</p> <p>3. 書き取りした問題文について、グループ内で話し合いを行う。 ①話し合いで内容が理解できればOK ②グループ全体で理解できないものについては、教員に報告した後、再度確認学習を行う。</p> <p>4. 総合問題3問について、上記1～3の流れを繰り返す。</p> <p>※事例を分解して理解しやすくする練習が行えると良い。</p>	
		5キーワード	介護福祉士、国家試験、事例、総合問題、介護読解力	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連 復習・予習課題	介護福祉士 介護福祉士の国家試験過去問題を自己学習をさせる。	
59	総合演習	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験過去問題を取り扱い理解を確認する。	オリジナルテキストp304
		コマ主題細目	過去問題、模擬問題演習①	
		細目レベル	<p>・介護福祉士国家試験の過去問題の総合問題を読み解き理解する。</p> <p>1. まず、教員指定の過去問の総合問題の「事例」について、重要なポイントと思われる箇所に下線を引く。 ⇒「理解できない」箇所があった場合、は黄マーカーで色付けしながら読み解き、解答を進める。 なお、解答選択肢を選ぶ際には、「選択した理由」と「選択しなかった理由」についても記述する。</p> <p>2. 黄マーカーが引かれている箇所については、自己学習ノートに書き取り、「何についてわからないか？（語句、言い回し、また質問の主旨）」をあわせて書き込む。</p> <p>3. 書き取りした箇所について、グループ内で話し合いを行う。 ①話し合いで内容が理解できればOK ②グループ全体で理解できないものについては、教員に報告した後、再度確認学習を行う。</p> <p>4. 過去問の総合問題3問について、上記1～3の流れを繰り返す。</p> <p>※事例を分解して理解しやすくする練習が行えると良い。</p>	
		5キーワード	介護福祉士、国家試験、事例、総合問題、介護読解力	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連 復習・予習課題	介護福祉士 本コマで実施した介護福祉士国家試験を再度、取り組ませる。	
60	総合演習	シラバスとの関係	介護福祉士国家試験過去問題を取り扱い理解を確認する。	オリジナルテキストp308
		コマ主題細目	過去問題、模擬問題演習②	
		細目レベル	<p>・介護福祉士国家試験の模擬問題の総合問題を読み解き理解する。</p> <p>1. まず、模擬問題内の総合問題の「事例」について、重要なポイントと思われる箇所に下線を引く。 ⇒「理解できない」箇所があった場合、は黄マーカーで色付けしながら読み解き、解答を進める。 なお、解答選択肢を選ぶ際には、「選択した理由」と「選択しなかった理由」についても記述する。</p> <p>2. 黄マーカーが引かれている箇所については、自己学習ノートに書き取り、「何についてわからないか？（語句、言い回し、また質問の主旨）」をあわせて書き込む。</p> <p>3. 書き取りした箇所について、グループ内で話し合いを行う。 ①話し合いで内容が理解できればOK ②グループ全体で理解できないものについては、教員に報告した後、再度確認学習を行う。</p> <p>4. 過去問の総合問題3問について、上記1～3の流れを繰り返す。</p> <p>※事例を分解して理解しやすくする練習が行えると良い。</p>	
		5キーワード	介護福祉士、国家試験、事例、総合問題、介護読解力	
		コマ要素	□実務連携 □理解度確認テスト ■オリジナル教材 □ICT活用 □実習・実技・実験・演習 □該当なし	
		資格・実務関連 復習・予習課題	介護福祉士 本コマで実施した介護福祉士国家試験を再度、取り組ませる。	

履修判定指標	履修指標	履修指標の水準	キーワード	配点	関連
	正しい日本語を使って、書く、話す、聞くことができる。	主語、述語、修飾語を使って、日本語を正しく読解し、それを書く、話す、説明する、聞いて理解することができる。	主語、述語、修飾語		第1・2章
	介護に関わる基礎用語を使って、現場の説明の文章を読解することができる。	介護福祉現場において、日常使われる言葉を理解しながら、書く、話す、聞くことができる。	介護福祉現場で使う言葉		第1・2章
	介護の場面で使用される語彙や表現の理解する。	介護の場面や図表、記録の文章を理解することができる。	介護の基本、実習記録、報告・連絡・相談		第1・2章
	さまざまな場面での配慮、個々に応じた支援を読み解くことができる。	さまざまな介護場面を日本語で理解することができる。	衣食住、リスクマネジメント、終末期		第3章
	生活支援技術の動作、場面を事例を通して読み解くことができる。	生活支援技術の動作、場面を日本語で理解することができる。	生活支援技術		第3章
	介護の基礎疾患	介護における基礎疾患を日本語で理解することができる。	脳血管性障害、糖尿病、骨粗鬆症、悪性腫瘍、廃用症候群 等		第4章
	障害の理解、認知症の理解	障害の理解、認知症の理解を日本語で行うことができる。	障害、認知症		第4章
	介護に関する法律、サービス	介護に関する法律、サービスとその特徴を日本語で理解する。	社会保障制度、介護保険法、障害者総合支援法、		第5章
総合演習	1年間で学んできたことを理解したうえで、介護福祉士国家試験(過去問題、模擬試験)を受け、合格点以上の点数をとる。	介護福祉士国家試験		第6章	
評価方法	配布されたプリントに正しい日本語で書いていることや、話すこと、聞くこと、定期テストで総合的に評価する。				

評価基準
学習目標をほぼ完全に達成している・・・・・・・・・・ S (100～90点)
学習目標を相応に達成している・・・・・・・・・・ A (89～80点)
学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある・・ B (79～70点)
学習目標の最低限は満たしている・・・・・・・・・・ C (69～60点)
学習目標の最低限を満たしていない・・・・・・・・ D (60点未満)

3. 実証講座の内容

3.1. 受講対象者

留学生 4 名

日本語能力 N3 : 3 名

所属 河原医療福祉専門学校 介護福祉科 1 年生

3.2. 実証講座の概要

第二章第二節 「実習記録の読み方、書き方」①授業概要

ここでは、実習前の授業となっているか、今回は実習に臨み作成した「実習記録」を基に、再度テキスト P89～P92 を使用して授業を進める。

① テキスト P89 「介護実習の目的」(講義・小個人ワーク)

- ・ 実習中の学びについて説明・再確認を行い、小個人ワークに向けてのレディネスを整える。
- ・ ①～⑩の施設実習の具体的な課題を实践出来たかの確認を行う。
 - ※ ここでは⑩の演習が主たる授業になるため、①～⑨に係る記録が出来たか各人の記録を確認することによる分析を行う。
 - ※ 15 日分の記録があるが、2 週目くらいの 1 日分の記録を抜き演習を進める。

② テキスト P90 「実習記録とは」(講義・個人ワーク)

- ・ 各人の「記録」の分析をどのように行うのかを分析させるための講義を行う。
- ・ 次の実習での「記録」に関して、提出に相応しいように自己完結出来ることを目的とする旨を指導する。
- ・ まずは記録物についての注意事項であるが、特に②～⑥まで気を付けるべき事項について各自の記録を確認させる。
- ・ 終わった者は⑦第 3 者が読んで分かる記録物か、近隣学生の記録を交換して⑦に該当するか確認してもらい指摘する。

③ まとめ

- ・ 「記録」の重要性と記録とはどういうものであるのか、今回の学びは継続する必要があることを伝える。
 - ※ 「日誌」と「日記」の違い。
 - ※ 報告書的な性質と実習指導をうけるために必要なプロセスであることを理解させる。
 - ※ ②の演習の②～⑥の指導を受けるのではなく、実習中の各人の取り組みについての指導を受けることが本来あるべき姿であることを理解させる。

3.3. 実証講座レポート

日時：2021年2月9日（火）13：40～15：10

場所：河原医療福祉専門学校 6階 601教室

授業者 上田 剛（河原医療福祉専門学校、介護福祉科教員）

受講者 留学生4名 A：N3 B：N3 C：N3 D：N

（河原医療福祉専門学校介護福祉科1年）

記録者 本田浩司（河原医療福祉専門学校）

講座名 介護福祉士を目指す外国人留学生のための「介護表現」読解力養成教育

「第二章第二節 「実習記録の読み方、書き方」①」

目的：今回は実習に臨み作成した「実習記録」を基に、再度テキスト P89～P92 を使用して、
実習記録の読み方、書き方の理解を深める。

授業者の活動・支援・声かけ	受講者の活動	実証、課題、気づき、その他
<p>①テキスト P89「介護実習の目的」（講義・個人ワーク）</p> <p>○実習中の学びについて説明・再確認を行い、個人ワークに向けてのレディネスを整える。</p> <p>「いつもと違うテキストです。これで実習の記録の勉強をしていきましょう。書き方が分からなかったことあったので、今日の時間で振り返りをしていきましょう。職員さんが読んでも分からないことがないように、誰かに見てもらうために、書ける力をつけていきましょう。今日は、15日間行ってきた実習の振り返りをしていきましょう。」</p> <p>○①～⑩の施設実習の具体的な課題を実践出来たかの確認を行う。</p>	<p>実習記録を準備する。</p> <p>実習記録の重要性を聞く</p> <p>テキスト p 89 ①～⑩</p> <p>介護実習の目的を聞く。</p>	<p>介護福祉士を目指す外国人留学生のための「実習記録」の書く力を高める動機付けを行う。</p>

<p>※ここでは⑩の演習が主たる授業になるため、①～⑨に係る記録が出来たか各人の記録を確認することによる分析を行う。</p> <p>※15日分の記録があるが、2週目くらいの1日分の記録を抜き出し演習を進める。</p> <p>テキスト実習目的①～⑩を説明する。</p> <p>「自身の記録を見直し、もう一度、記録を書き直し、読みやすくしていきましょう」</p> <p>テキスト実習記録①～⑦を見ながら、自身の記録を振り返らせる。誤字脱字や接続詞、助詞、専門用語にも変換させていく。</p> <p>②テキスト P90「実習記録とは」(講義・個人ワーク)</p> <p>○各人の「記録」の分析をどのように行うのかを分析させるための講義を行う。</p> <p>○次の実習での「記録」に関して、提出に相応しいように自己完結出来ることを目的とする旨を指導する。</p> <p>○記録物についての注意事項であるが、特に②～⑥まで気を付けるべき事項について各自の記録を確認させる。</p> <p>○終わった者は⑦第3者が読んで分かる記録物か、近隣学生の記録を交換して⑦に該当するか確認してもらい指摘する。</p>	<p>15日の記録の中から、1つを選ぶ。自身の記録を見直す。</p> <p>テキスト実習目的を読む。</p> <p>演習開始</p> <p>誤字脱字の発見、介護福祉専門用語に変換、テキスト実習記録①～⑦を読み取り、自身の記録を見返していく。</p> <p>チェックした後に書き直していく。</p> <p>お互いに記録を見せ合い、考えを言ったり、聞いたりする。</p> <p>誰が読んでも分かる記録になっているか確認する。</p> <p>まとめを聞く。</p>	<p>テキストにはルビがあるため、受講生は読めている。</p> <p>自身の記録を読み、誤字脱字や介護福祉専門用語が足りない場合は、加筆していく。</p> <p>テキスト実習記録①～⑦を読み取り、自身の記録をみる。テキストを読み取りながら、記録を見返し、理解できているところはチェックしていく。読解力をつけながら、書く活動を行っていく。</p> <p>お互いに話し、また話を聞き、記録が分かりやすいものになっているか、本人が友人の記録を読解していく活動。</p>
--	---	---

まとめ

○「記録」の重要性と記録とはどのようなものであるのか、今回の学びは継続する必要があることを伝える。

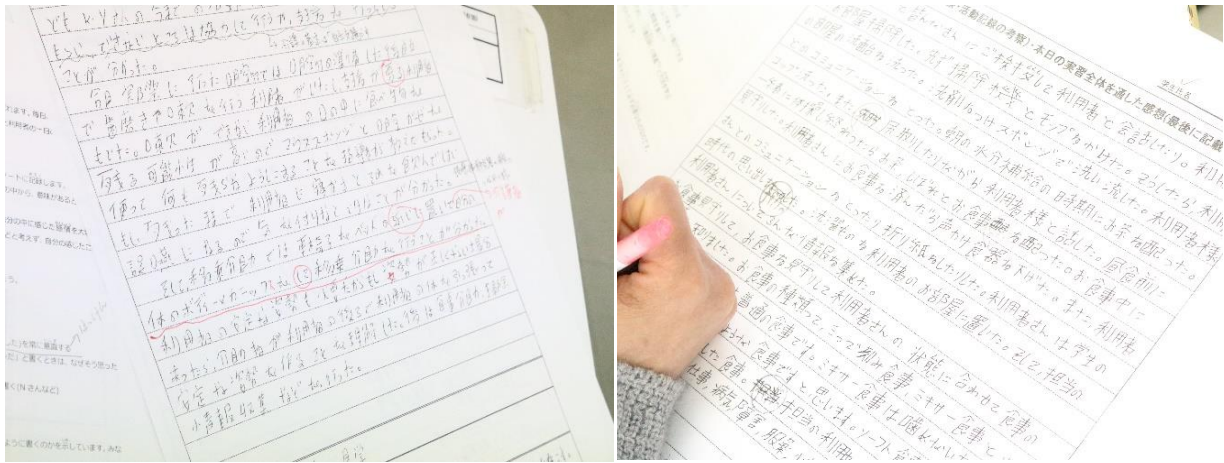
※「日誌」と「日記」の違い。

※報告書の性質と実習指導をうけるために必要なプロセスであることを理解させる。

※②の演習の②～⑥の指導を受けるのではなく、実習中の各人の取り組みについての指導を受けることが本来あるべき姿であることを理解させる。



実証講座では、テキスト第2章第2節の実習記録の読み方、書き方を行った。コロナウイルス感染予防のため、座学はオンライン授業を行っているが、実技や実習の授業は、クラスを分け、少人数で行っている。実証講座は、少人数で行ったこともあり、積極的に受講していた。学習内容は、実習記録の実習での「記録」に関して、提出に相応しいように自己完結出来ることを目的とする旨を指導する。記録物についての注意事項であるが、①誤字脱字が無いよう注意し、辞書を活用する。②介護の専門用語を使って書く。③簡単に分かりやすく、主語述語を常に意識する。④「事実」と「感じたこと」は区別し



て書く。⑤個人が分からないように、利用者の氏名はイニシャルで書く。⑥第三者が呼んでも理解できる記録を書くことについて各自の記録を確認させる。終わった者は、近隣学生の記録を交換して⑥に該当するか確認してもらい指摘する。



読解力を高めるプログラムの2章2節は、お互いの記録を読み合いながら、読む、話す、聞く、書くことの演習を通し、日本語能力を高めていた。友人の記録は、教科書と違い、読みにくいこともあり、それが自身の記録も同様である。実習記録を生きた教材として、テキストと並行して使うことが、実習記録の読み方、書き方の学習が深められる。

3.4. 実証講座の評価

3.4.1. 実証講座の振り返り

実証講座の振り返り

実証講座終了後に、作業委員会の委員を中心とした参加者により振り返りを行った。

- 日時 令和3年2月9日(火) 13:40～16:00
- 場所 河原医療福祉専門学校 601教室

参加者

社会福祉法人慈光会	介護老人福祉施設味酒野ていれぎ荘	
	施設長 窪田 里見	委員 代理 坂本拓哉 様
社会福祉法人 泰斗福祉会		施設支援部長 荻山 英治委員
河原医療福祉専門学校	介護福祉科教員	上田 剛
河原医療福祉専門学校	介護福祉科主任	宮田 幸
河原医療福祉専門学校	教務課長	本田 浩司

授業者から

上田

実習記録は、実際には書けていたが、細かいところは間違っている。このテキストによって振り返りができることがよかった。日本語能力は、そこまで高くはないが、国家試験は日本人と同様に

合格させていきたい。そのため、留学生の通常のコマにこの講座を入れていくことによって、日本語力や読解力をつけていきたい。

12月に実習に行かせたら、日本語能力が高くなってきている。現場の教育力はとても高いと感じた。記録も十分指導をして頂いている。日本人の学生のなかにも、誤字や脱字、介護福祉専門用語を使っていない学生がいる。今後は日本人にも使いたいと思った。

見学者から

荻山

どれくらい日本語が分かるのかと思っていたが、かなり上達していた。先生の話も聞きながら理解をしていた。演習では、自身の記録を取り出し、それをもとに振り返るのはとても良い。実際に実習を受け入れていたが、現場では記録を誤字脱字等の指導はするが、他のところ時間が無かった。今日の授業は実習記録の書き方に注意する内容で、それを要点にしているので、自身の記録と見比べながら、見直していくことができたのでよかった。相手に読んでもらうことが意識できるようになれば、日本語の習得にもなると思う。思っていた以上に、日本語の受け答えが上達したと感じた。

城本

記録を振り返りながら、見直していくのはとても良いと思った。このような授業を学校でやることが分かった。専門用語は、日本人でも分からないことが多い中、授業で専門用語を使わせていくことが学びになっている。今日の授業も、誤字脱字から始まり、専門用語に直していく活動へとつながっていくものと分かった。

現在、河原の学生がうちでアルバイトをしているが、専門用語も以前より多くなってきている。

宮田

分からないところを質問する姿をみて、積極的に取り組んでいた。記録とは自分で考えて書いていくものなので、この授業は効果的なものだった。これは継続していくことによって、留学生にも分かりやすく理解が高まると思った。今回は、12月に実習に行き、その後の振り返りとなったが、実際に実習に行っていない留学生に対して、どうやって教えていこうかと考えた。テキストの記録の取り方に使い方については、1年生では3回実習があるので、実習前・後が効果的になる方法を考えていきたい。

上田

初めての实習は、ミスも多いため、プレッシャーをかけず、表情良く学んでくることが大切だと考えている。間違っても大丈夫という思いで、1回目の実習に臨んでいる。その実習の記録について、この授業で振り返ることができた。間違った文字や言葉、言い回しで、第三者に分かりやすく伝えることは難しいことであると、気付くことができてよかった。ただ、密を避けるために、クラスの留学生も半分に分け、今日は全員を受講させることはできなかったが、一方のクラスにもやっていく。実習記録という教材がみつかり、このテキストで振り返りをしていきたい。

宮田

今日の授業はテキストの2章であった。現在は、最後の修正をお願いしている段階である。このテキストを使って、文章を読み、書き、話す力をつけていきたい。このテキストは、1年生のカリキュラムのなかに入れ込んでいきたい。

荻山

来年の1年生から、実施していくのか。

宮田

やっていきたい。新カリキュラムの変更もあるので、そのなかで入れ込んでいきたい。あと、学生は実習が終わったら、人に関わる姿勢が高まってきている。日本語の力も高まってきた。人と関わる学びは、現場の特徴でもあるので、今後もよろしくお願ひしたい。

荻山

12月に実習に来たときはコミュニケーション能力が高かった。実習では、アセスメントの対象者を選ぶときに、アセスメントがしにくい利用者を選んだ。しかし、真剣に関わっていた。

本田

その他、テキストについてはどうか。

荻山

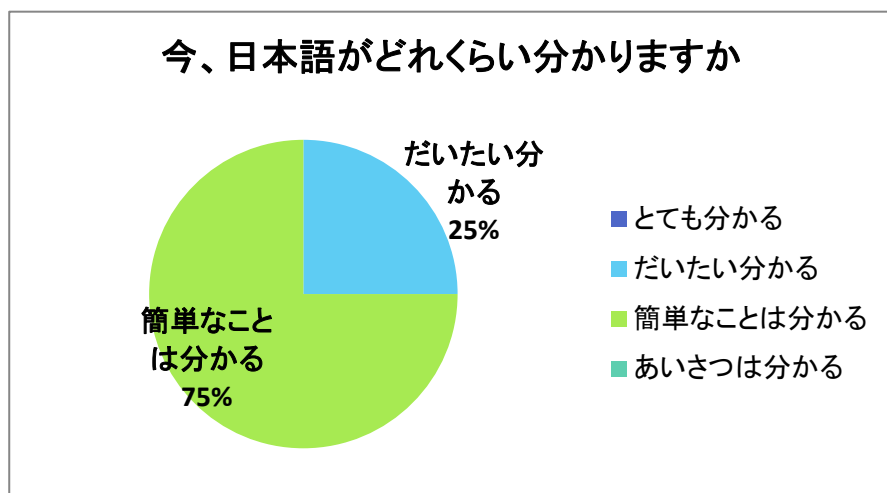
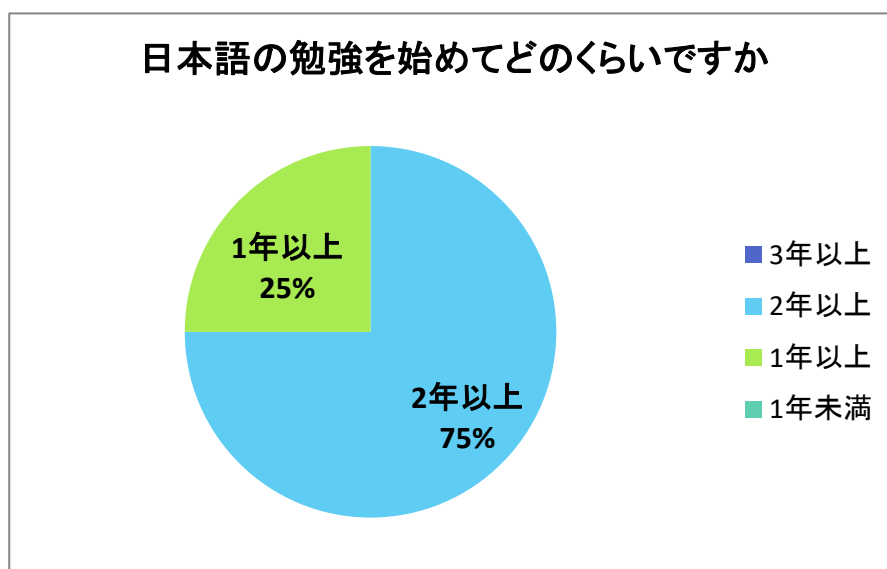
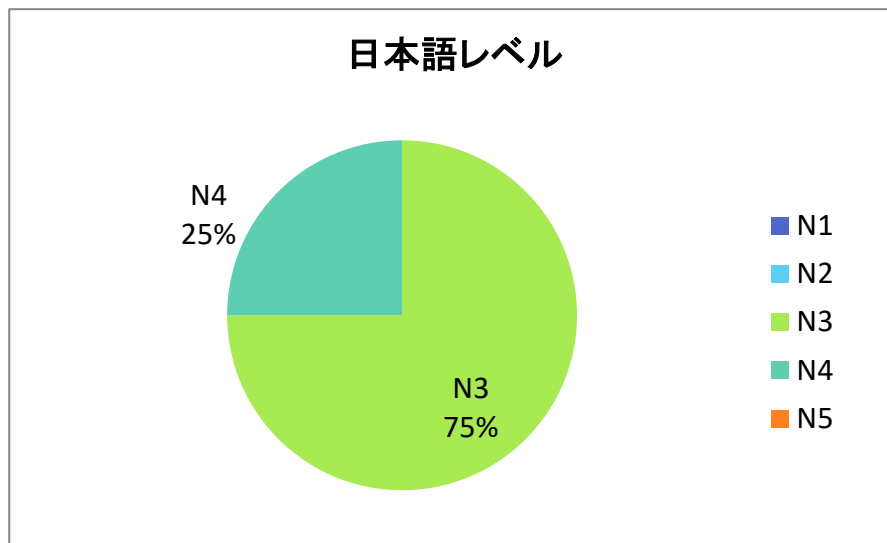
介護用語も早い段階で入っている。それは留学生が早めに学ぶことになるので良い。普段は耳にしない介護用語を早い段階で学ぶのはよい。委員会は今年で終わるので、今後は実際のテキストを使って学生の様子を教えてほしい。

城本

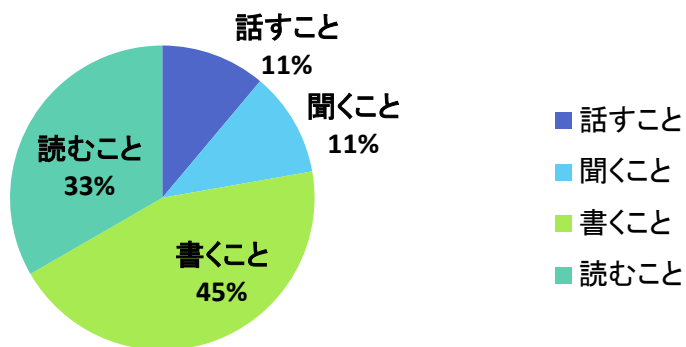
私も早い段階で学ぶことはよいと思った。記録の仕方は、留学生だけでなく日本人にも身に付けていかなければならないも課題だと思った。

教材本文は、本成果報告書の「4. テキスト」に掲載する。

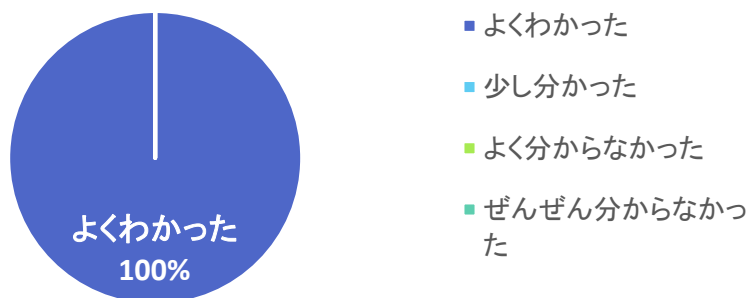
3.4.2. 実証講座受講者（留学生）アンケート結果



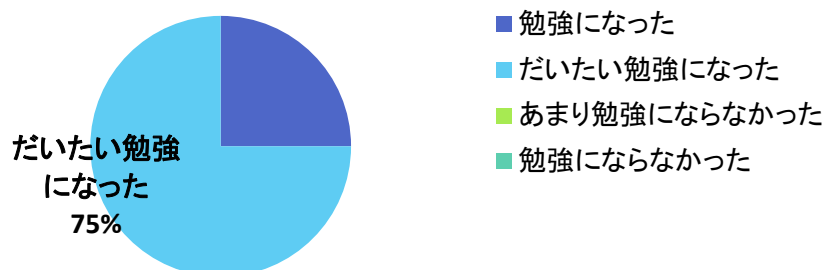
日本語で難しいのはどれですか (複数回答)



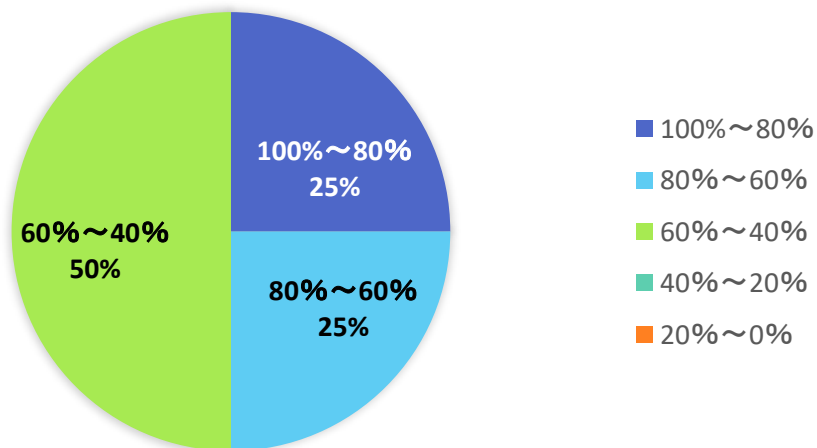
実習記録の書き方は、教えてもらって分かりましたか。



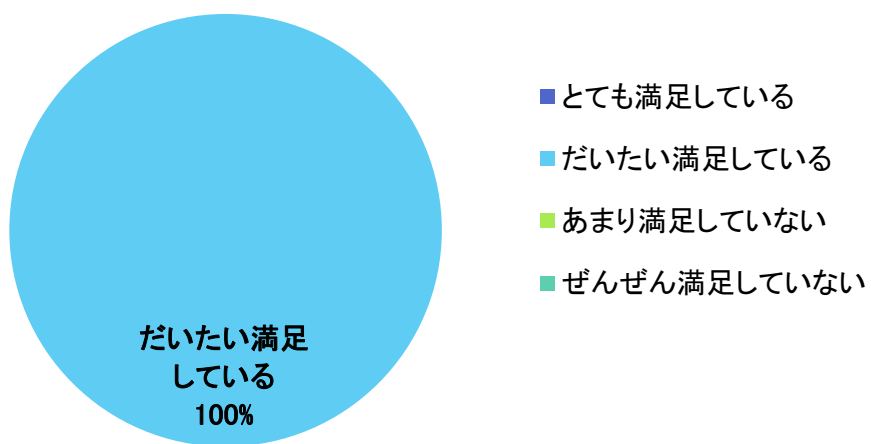
授業で話すことや読むこと、ノートに書くことがありましたが、勉強になりましたか。



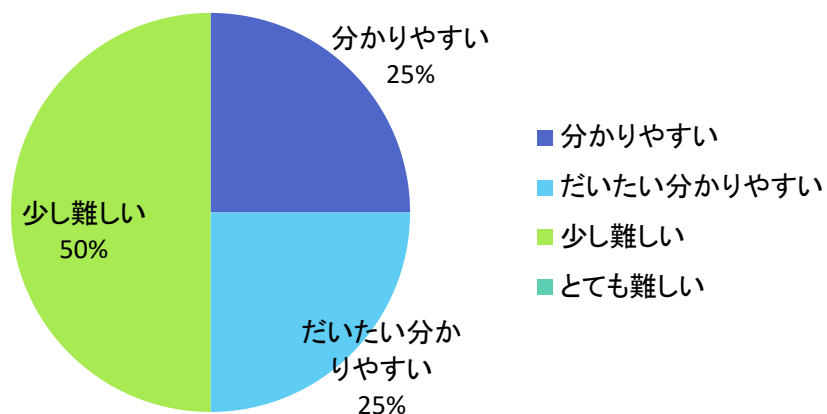
あなたは、この授業で習った内容を何パーセントくらい分かったと思いますか。



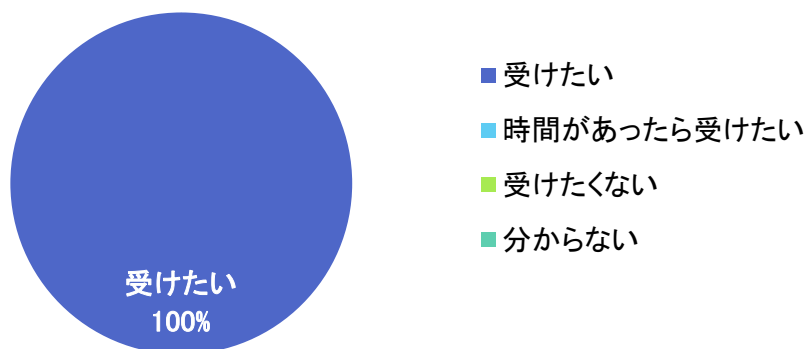
あなたは、この授業を受けて、どれくらい満足していますか。



テキストの内容は、分かりやすかったですか。

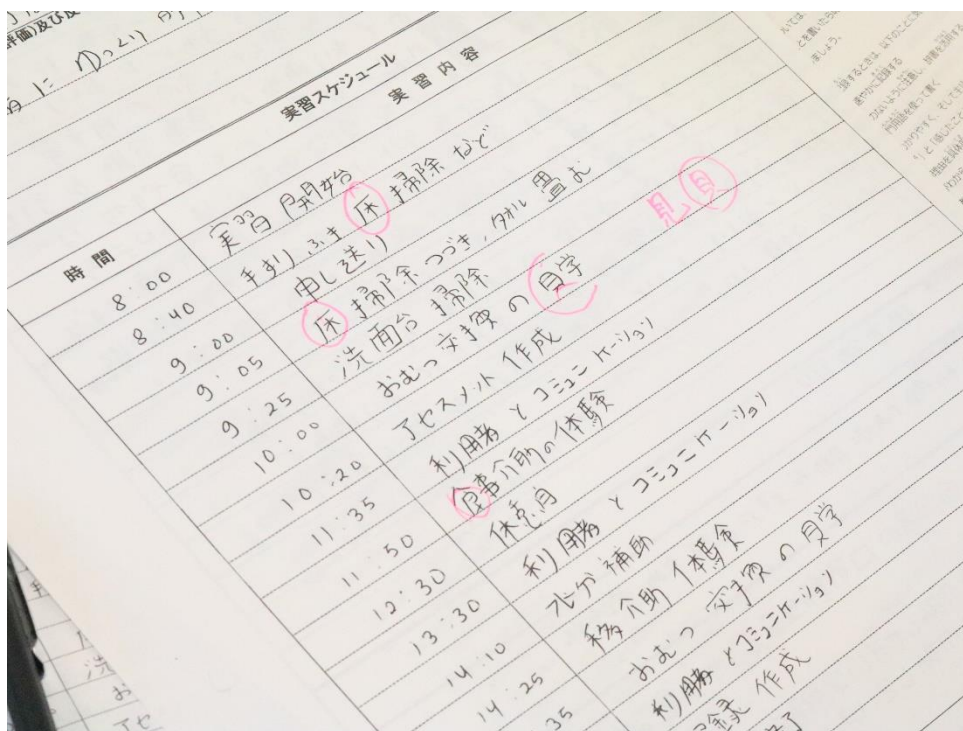


これから、この授業を受けていきたいと思えますか



3.4.3. 実証講座まとめ

実証講座の参加者の日本語レベルは、N3が3名、N4が1名であった。受講生の大半が2年以上の日本語を学び、簡単なことが分ると答えたのが4名であった。日本語で難しいものは、「書くこと」と「読むこと」の回答が多かった。また、「授業で話すことや読むこと、ノートに書くことがありましたが、勉強になりましたか」という問いに対して、「じょうずに説明してくれました」「すぐおぼえられて、すぐノートにかける」「覚えやすかった」「じょうずにせつめいでわかった」という意見がみられた。



時間	実習スケジュール	実習内容
8:00	実習開始	実習開始
8:40	お話し	お話し
9:00	お話し	お話し
9:05	お話し	お話し
9:25	お話し	お話し
10:00	お話し	お話し
10:20	お話し	お話し
11:35	お話し	お話し
11:50	お話し	お話し
12:30	お話し	お話し
13:30	お話し	お話し
14:10	お話し	お話し
14:25	お話し	お話し

実証講座では、テキスト第2章第2節の実習記録の読み方、書き方を行った。コロナウイルス感染予防のため、座学はオンライン授業を行っているが、実技や実習の授業は、クラスを分け、少人数で行っている。実証講座は、少人数で行ったこともあり、積極的に受講していた。学習内容は、実習記録の実習での「記録」に関して、提出に相応しいように自己完結出来ることを目的とする旨を指導する。記録についての注意事項は①～⑦まであり、②の誤字脱字が無いよう注意し、辞書を活用する。とある。Aさん(N3)は、「床」の「部首の上の点」が無いところや、「見」を「貝」に書いていた。「食」の「下の部分」に誤字や脱字があった。(写真)それを自身の記録について、誤字や脱字を見つけ訂正していた。

また、友人同士で記録を見合いながら、②誤字や脱字、⑦第三者にとって読みやすい記録となっているかなどを話し合いながら活動を行った。

コマシラバス(22コマ)では、このコマの細目レベルを、

「介護実習の目的を理解し、実習場面で使用される実習記録を読み、その内容について簡単な日本語で説明を行い、内容の理解を深めるとともに、日本語で記述できるようにする」としている。

1. 実習記録(サンプルケース1)を読み、自分の言葉で要約をおこなう。

要約について、グループ内で説明しあい、グループとして発表をおこなう。

2. 要約に基づき、介護実務に求められる表現方法に置き換える。置き換えた文章については、個人で発表をおこなう。間違い箇所については、自己学習ノートに書き留める。

3. 実際に実習記録を作成し、記録の取り方や方法を理解する。

実際に、自身の実習記録を教材としてお互いの記録を読み合いながら、間違い箇所を訂正し、実習記録を訂正していた。講座の振り返りとして、第2章2節の実習記録の読み方・書き方については、1年生の1回目の実習後の学習が効果的になる可能性も考えられ、改めてこのテキストの効果的な使い方を、検討していきたい。